

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第5週 >

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< インフルエンザ >

第5週の定点当たり報告数は42.62となり、前週の定点当たり報告数をさらに上回った



病原体情報
P.9-13

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン



速報
P.14

小学校の集団感染からのB型インフルエンザウイルス(Victoria系統)の分離 - 兵庫県



海外感染症情報
P.15-21

インフルエンザ / ガーナにおける黄熱 / カメルーンにおける黄熱 / 鳥インフルエンザ - ベトナムにおける状況



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(5週)
P.23-28



5週のデータ
P.29-41



発生動向総覧

< 第5週コメント > 2月8日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核398例

3類感染症

細菌性赤痢2例

菌種: *S. flexneri*(B群)1例__感染地域: ギニアビサウ

S. sonnei(D群)1例__感染地域: 岐阜県

腸管出血性大腸菌感染症15例(有症者7例、うちHUS なし)

感染地域: 国内14例、フィリピン1例

国内の感染地域: 千葉県3例、山口県3例、福岡県3例、北海道1例、群馬県1例、埼玉県1例、三重県1例、長崎県1例

年齢群: 2歳(1例)、3歳(1例)、4歳(1例)、5歳(1例)、6歳(1例)、10代(2例)、20代(3例)、30代(4例)、50代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT2(5例)、O26 VT1(4例)、O91 VT1(3例)、O29 VT2(1例)、O169 VT1(1例)、その他・不明(1例)

累積報告数: 67例(有症者33例、うちHUS なし . 死亡なし)

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 福島県1例__感染源: 豚レバーの生食

感染地域: 兵庫県1例__感染源: 猪肉

A型肝炎1例

感染地域: 韓国

つつが虫病2例

感染地域: 千葉県1例、鹿児島県1例

デング熱1例

感染地域: インドネシア

レジオネラ症9例(肺炎型9例、うち1例死亡)

感染地域: 岩手県1例、群馬県1例(温泉)、東京都1例、神奈川県1例、岐阜県1例(温泉)、静岡県1例、島根県1例、大分県1例(温泉)、ベトナム1例

年齢群: 60代(4例)、80代(4例)、90代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢11例(腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症2例)

感染地域: 東京都4例、埼玉県1例、岡山県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)2例、カンボジア1例、フィリピン/ミャンマー1例

感染経路: 性的接触5例(異性間2例、同性間1例、異性/同性間1例、異性間・同性間不明1例)、経口感染3例、不明3例

ウイルス性肝炎3例

B型3例__感染経路: 性的接触3例(異性間3例)

急性脳炎11例 インフルエンザウイルスA型7例__年齢群:1歳(1例) 2歳(1例) 4歳(1例) 6歳(1例) 7歳(1例) 10代(2例)
 インフルエンザウイルスB型1例__年齢群:8歳
 インフルエンザウイルス型不明1例__年齢群:8歳(死亡)
 単純ヘルペスウイルス1例__年齢群:20代
 病原体不明1例__年齢群:10代

クロイツフェルト・ヤコブ病2例
 孤発性プリオン病古典型2例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例
 年齢群:30代(2例) 50代(2例) 60代(2例)うち1例死亡) 70代(1例)

後天性免疫不全症候群11例(AIDS 1例、無症候7例、その他3例)
 感染地域:国内6例、中国2例、国内・国外不明3例
 感染経路:性的接触10例(同性間7例、異性間3例) 不明1例

梅毒12例(早期顕症I期1例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候6例)

破傷風2例 年齢群:60代(1例) 70代(1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例
 遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体:血液2例

風しん5例(検査診断例3例、臨床診断例2例)
 感染地域:東京都2例、群馬県1例、京都府1例、国内(都道府県不明)1例
 年齢群:0歳(1例) 15～19歳(1例) 25～29歳(1例) 30～34歳(1例) 50代(1例)
 累積報告数:24例(検査診断例19例、臨床診断例5例)

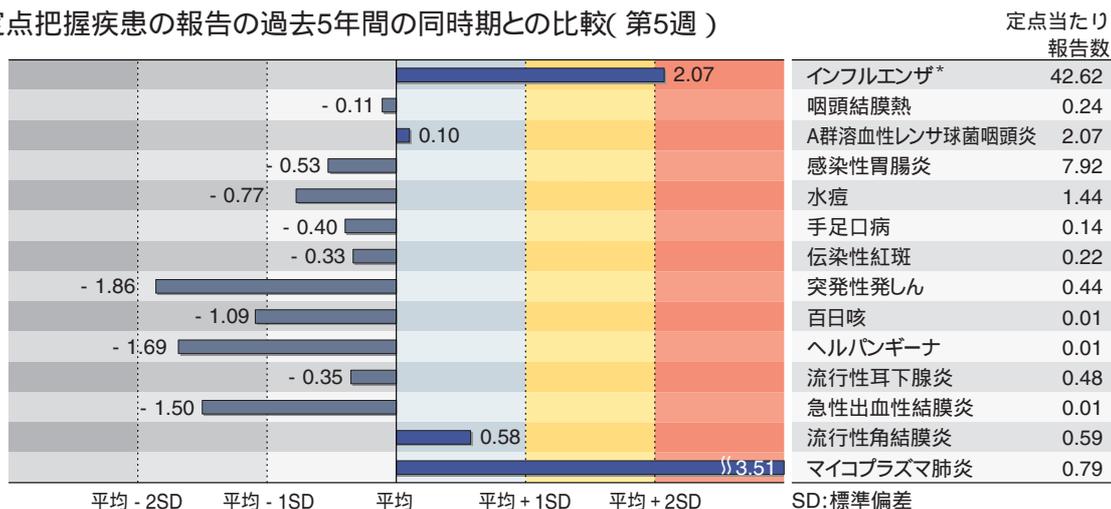
麻しん10例〔麻しん(検査診断例5例、臨床診断例1例) 修飾麻しん(検査診断例4例)〕
 感染地域:愛知県3例、岐阜県1例、愛媛県1例、国内(都道府県不明)5例
 年齢群:0歳(1例) 1歳(2例) 15～19歳(2例) 20～24歳(3例) 40代(2例)
 累積報告数:37例〔麻しん(検査診断例24例、臨床診断例4例) 修飾麻しん(検査診断例9例)〕
 遺伝子型別累積報告数(遺伝子型が同定・報告された症例のみ)
 D8:7例__感染地域:愛知県3例、千葉県2例、岐阜県1例、タイ1例
 D9:2例__感染地域:岡山県1例、フィリピン1例

(補)2012年第4週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎3例(感染地域:静岡県2例、神奈川県1例__感染源:猪肉2例、鹿肉1例) デング熱4例(感染地域:インドネシア1例、インド1例、フィリピン1例、インド/シンガポール1例) 日本紅斑熱1例(感染地域:熊本県) マラリア1例(熱帯熱__感染地域:ウガンダ) レジオネラ症1例(感染地域:北海道 .死亡) 急性脳炎14例(インフルエンザウイルスA型3例__年齢群:5歳(1例) 6歳(1例) 9歳(1例) .インフルエンザウイルスB型1例__年齢群:7歳 .ヒトヘルペスウイルス6型2例__年齢群:0歳(1例) 1歳(1例) .RSウイルス1例__年齢群:2歳 .単純ヘルペスウイルス1例__年齢群:40代 .ロタウイルス1例__年齢群:2歳 .病原体不明5例__年齢群:1歳(1例) 3歳(2例) 9歳(1例) 40代(1例))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例〔40代(1例) 70代(1例) 80代(1例) 90代(1例)〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型: *VanC* 3例__菌検出検体:血液2例、腹水1例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第5週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(64.41)、岩手県(58.98)、石川県(55.65)、宮崎県(55.36)、高知県(54.21)、山口県(51.64)、埼玉県(50.94)、千葉県(50.84)、静岡県(50.83)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は1,684例と第51週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別で新潟県(1.10)、佐賀県(0.83)、福岡県(0.60)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(5.64)、富山県(5.62)、福井県(5.27)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では大分県(24.7)、福井県(15.2)、熊本県(14.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県(2.78)、宮崎県(2.60)、岩手県(2.40)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では石川県(0.72)、滋賀県(0.56)、鹿児島県(0.56)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では鳥取県(1.63)、島根県(1.39)、長野県(0.98)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(0.15)、栃木県(0.08)、群馬県(0.05)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では徳島県(0.09)、富山県(0.07)、香川県(0.07)、高知県(0.07)が多い。

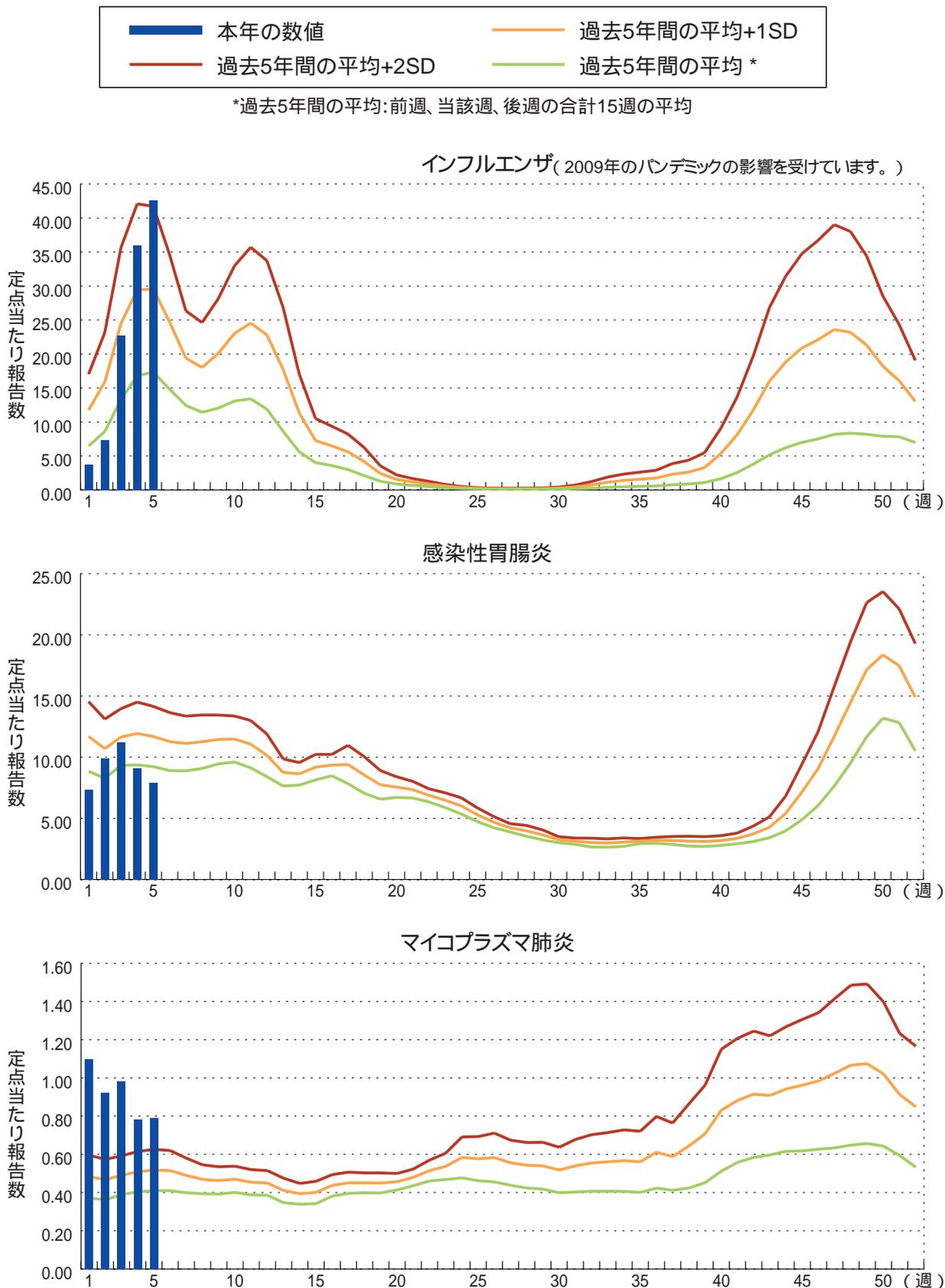
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(1.72)、山形県(1.70)、鳥取県(1.68)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(3.29)、埼玉県(3.11)、愛知県(1.92)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第5週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

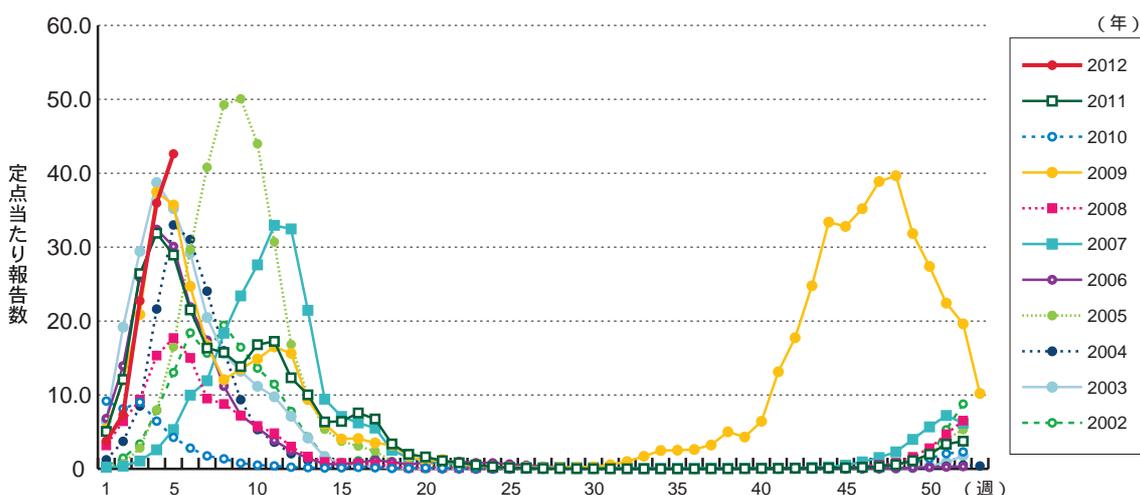
インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38 以上の高熱) 頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続く。通常は1週間前後の経過で軽快するが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴である。

インフルエンザの主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている(CDCホームページ: <http://www.cdc.gov/flu/about/disease/spread.htm>)。感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生の徹底が重要であると考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。従って、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においてインフルエンザの集団発生をコントロールすることは困難であると思われる。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第42週以降増加が続いており、2012年第5週の定点当たり報告数は42.62(報告数209,974)となり、前週の定点当たり報告数(35.95)をさらに上回った(図1)。都道府県別では福井県(64.41)、岩手県(58.98)、石川県(55.65)、宮崎県(55.36)、高知県

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(2002～2012年第5週)



(54.21) 山口県(51.64) 埼玉県(50.94) 千葉県(50.84) 静岡県(50.83) 神奈川県(48.86) の順となっている。36都道府県で前週より増加がみられており、27の都道府県で40.00を、9県で50.00を上回った(図2)。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約211万人(95%信頼区間:194～229万人)〔暫定値〕と前週の推計値(約173万人)よりも増加しており(図3)、年齢群別では5～9歳約57万人(27.0%)、10～14歳約37万人

図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2012年第3～5週)

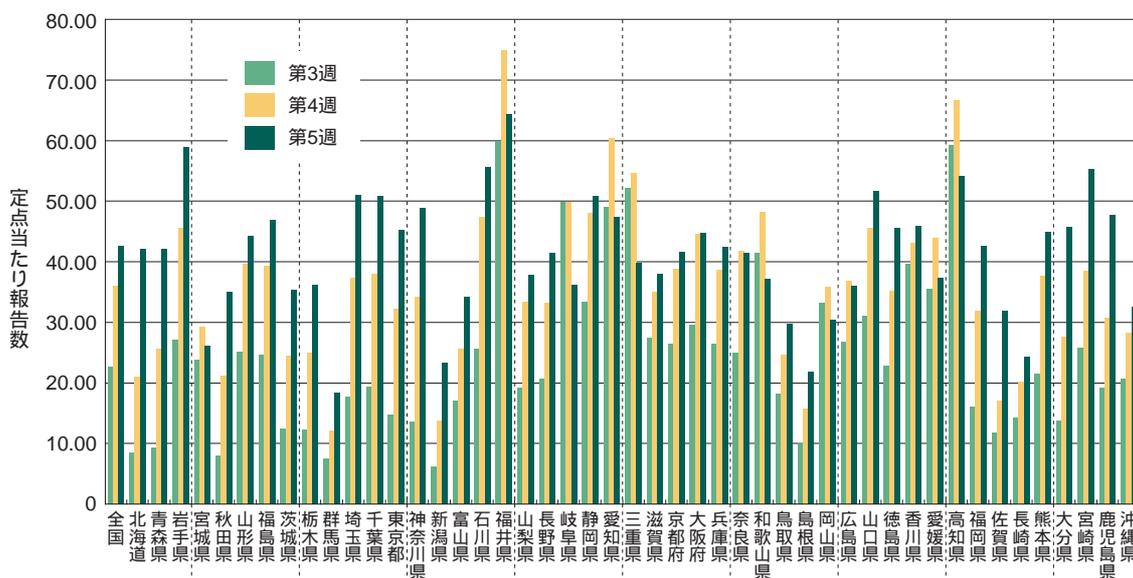
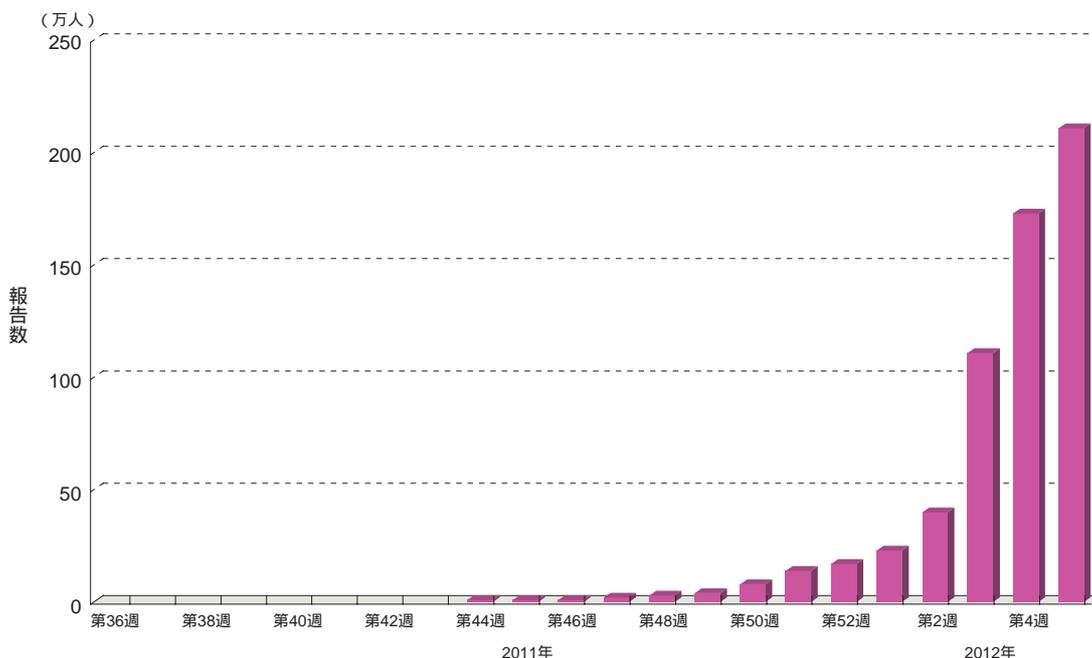


図3. インフルエンザ推計受診者数(暫定値)週別推移(2011年第36週～2012年第5週)



(17.5%)、0～4歳約32万人(15.2%)、30代約22万人(10.4%)、40代、60歳以上は共に約16万人(7.6%)の順となっている。また、2011年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は609万人(95%信頼区間:585～633万人〔暫定値〕)であった。

2011年第36週～2012年第5週に国内では2,022検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が6件(0.3%)、AH3亜型(A香港型)1,788件(88.4%)、B型228件(11.3%)とAH3亜型が大半を占めている状態に変わりはないものの、B型の割合がやや増加してきている。

一部の県では報告数の減少がみられてきているものの、北海道、東北、関東、九州の各地域ではまだ比較的大きな増加を示しているところが少なくない。今後ともインフルエンザの発生動向に対しては注意深い観察が必要である。



病原体情報

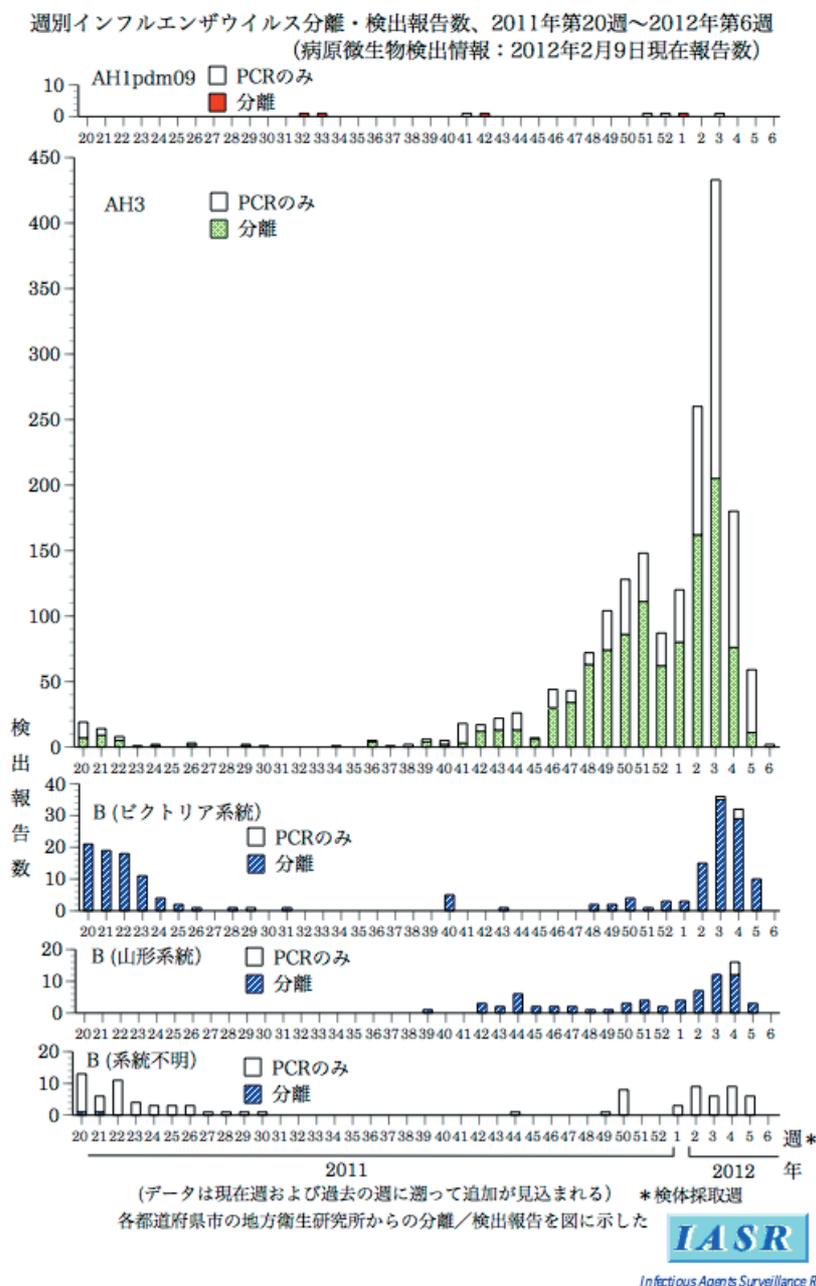
* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年2月9日現在報告分)

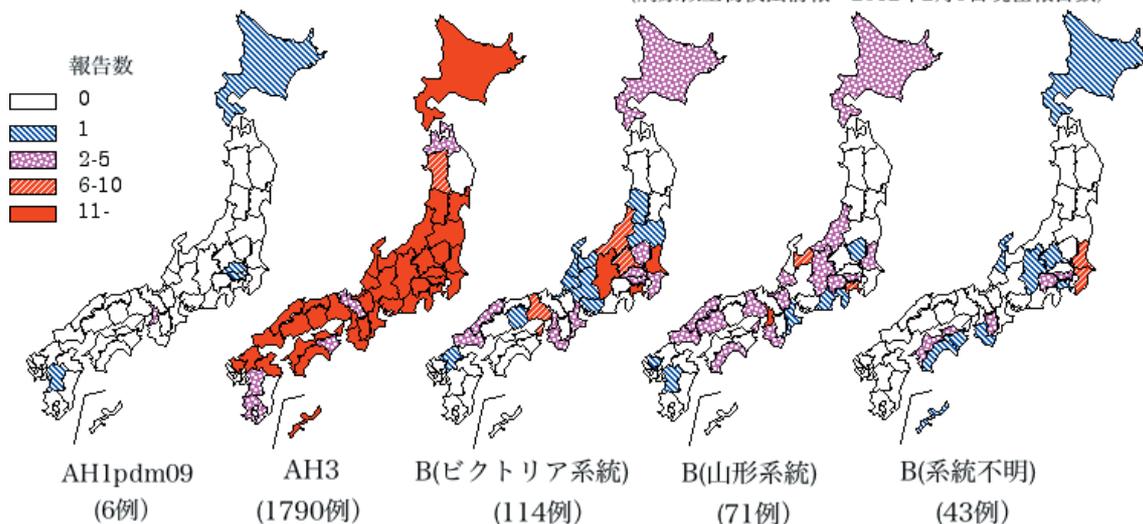
インフルエンザウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の2011年第36週～2012年第6週までAH3亜型の検出が続いている。B型ビクトリア系統株とB型山形系統株は第2週以降やや増加している(14ページ「速報」参照)。AH1pdm09は少数報告されている。



2011年第36週～2012年第6週の累積では、AH1pdm09が5都道府県から6件、AH3亜型が44都道府県から1,790件、B型はビクトリア系統株が25都道府県から114件、山形系統株が22都道府県から71件、系統不明株が16都道府県から43件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第36週～2012年第6週
(病原微生物検出情報：2012年2月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



直近の2012年第1～5週の5週間では、AH1pdm09が北海道、大阪府各1件、AH3亜型が42都道府県から1,053件(神奈川県110件、和歌山県93件、茨城県85件、山梨県77件、北海道56件、大阪府44件、兵庫県41件、長野県40件、栃木県、新潟県、鳥取県各39件、富山県38件、東京都37件、高知県28件、愛媛県22件、島根県20件、埼玉県、岡山県各19件、岐阜県、奈良県、大分県各18件、愛知県、福岡県各17件、石川県、福井県各16件、山口県12件、静岡県、香川県各11件、三重県8件、滋賀県7件、山形県、佐賀県各6件など) B型はビクトリア系統株が22都道府県から96件(長野県15件、茨城県、神奈川県各12件、新潟県、兵庫県各8件、群馬県7件、北海道、三重県各5件、栃木県4件、東京都、島根県各3件、埼玉県、和歌山県、山口県各2件など) 山形系統株が19都道府県から42件(神奈川県、兵庫県各5件、島根県4件、富山県、長野県、高知県各3件、茨城県、東京都、福井県、滋賀県、和歌山県、山口県各2件など) 系統不明株が12都道府県から33件(茨城県10件、山梨県、奈良県、香川県各4件、東京都3件、愛媛県2件など)報告されている。

このうち、輸入例からの検出が5件(AH3亜型シンガポール、スウェーデン、タイ各1件、B型山形系統株グアム1件、B型系統不明株中国1件)報告されている。

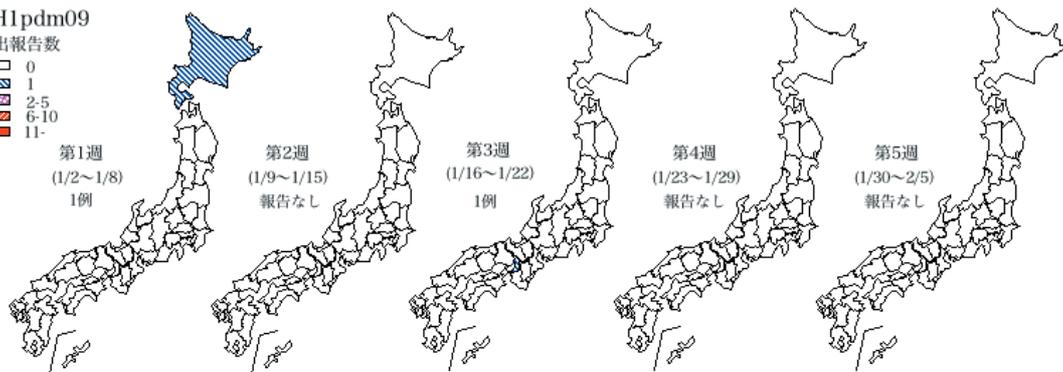
インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2012年第1週～第5週

(病原微生物検出情報: 2012年2月9日現在報告数)

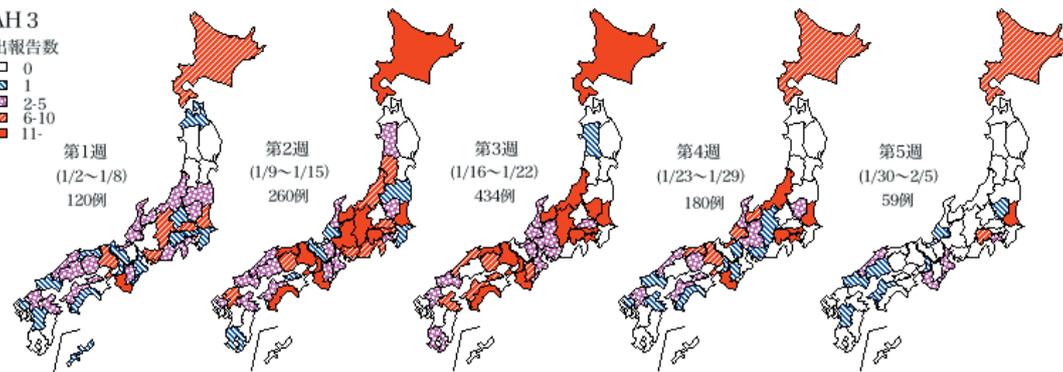
AH1pdm09

検出報告数



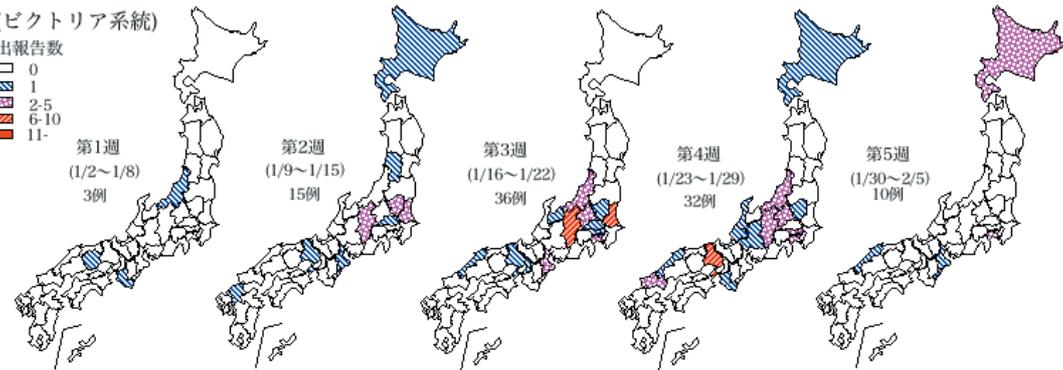
AH3

検出報告数



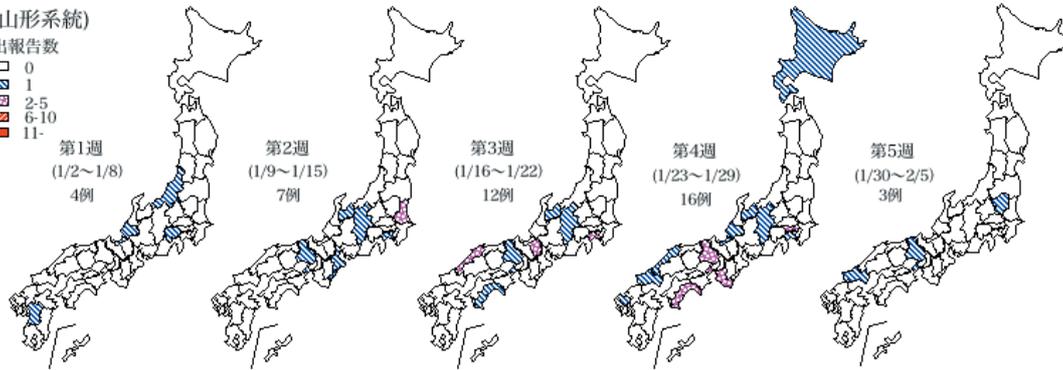
B (ビクトリア系統)

検出報告数



B (山形系統)

検出報告数



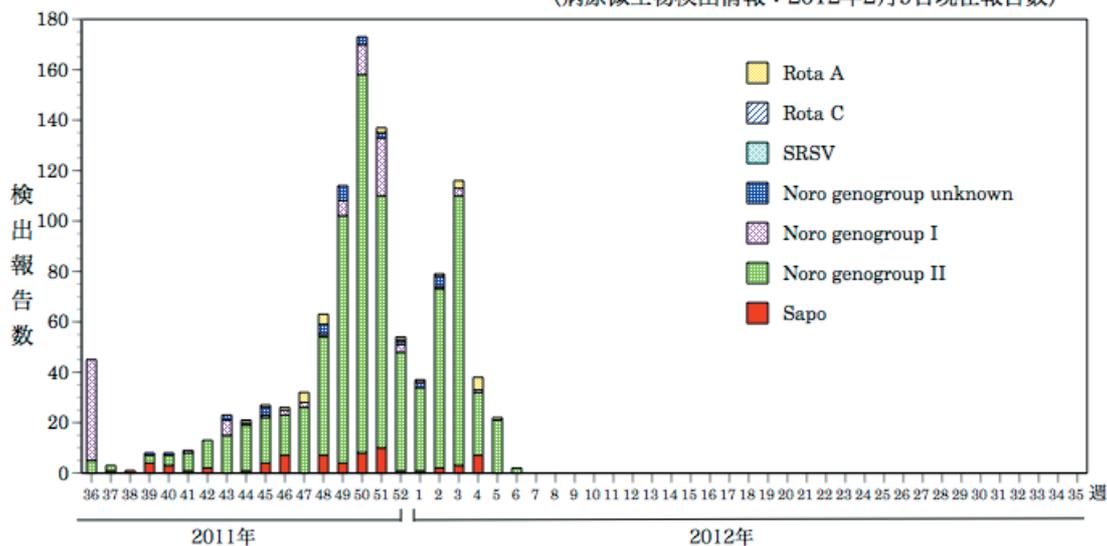
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の2011年第36週に大阪府で幼稚園での集団発生例からノロウイルス genogroup(G)Ⅳが検出されている。第39週以降、散発例・集団発生例からノロウイルスGⅡの報告が増加し、第50週をピークに一旦減少したが、2012年第2～3週に再び増加している。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2012年2月9日現在報告数)

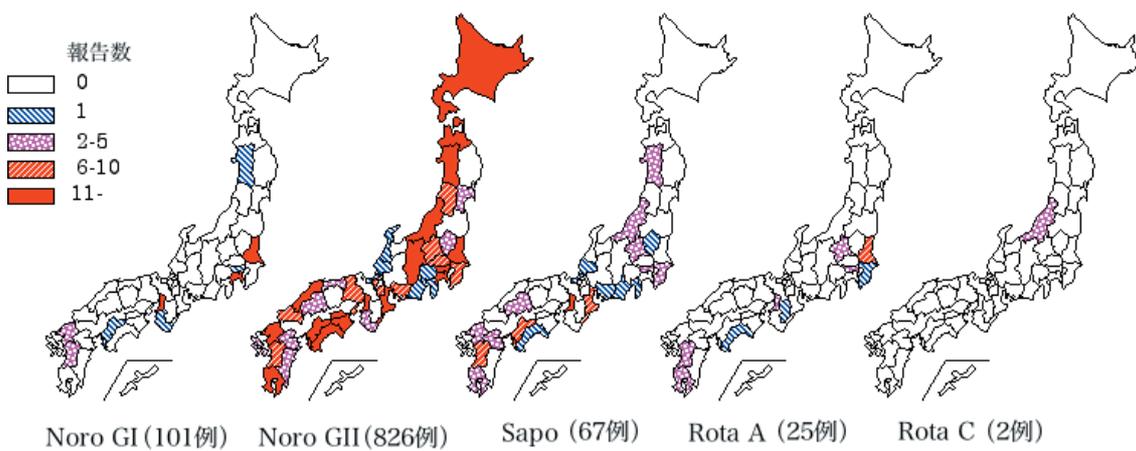


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2011年第36週～2012年第6週にノロウイルスGIが9都府県から101件(うち、GI/4 46件、GI/3 2件、GI/1、GI/14各1件、GI/NT 51件)、ノロウイルスGIIが38都道府県から826件(うち、GII/4 108件、GII/2 32件、GII/13 15件、GII/6 13件、GII/3 9件、GII/12 7件、GII/NT 642件)、サポウイルスが18都府県から67件(うち、GI 33件、GII 4件)報告されている。また、A群ロタウイルスが9都府県から25件報告されており、このうち第47週に茨城県で発生した施設内集団発生事例の成人から検出された3件は遺伝子型G2であった。この他にC群ロタウイルスが新潟県から第52週と第4週に各1件、アストロウイルスが埼玉県から第47週に1件報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2012年2月9日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



ノロウイルス検出速報は <http://idsc.nih.gov/jp/iasr/noro.html> を参照ください。



小学校の集団感染からのB型インフルエンザウイルス (Victoria系統)の分離 - 兵庫県

2012年1月30日(第5週)に赤穂健康福祉事務所管内の隣接する2つの小学校(児童数はA校が478名、B校が408名)でインフルエンザの集団発生に伴って学年閉鎖等の措置がとられた。A校では第1学年71名中24名が発症したため学年閉鎖、B校では第1学年の1クラス31名中8名の発症により学級閉鎖となった。患者の主症状は発熱(37.4～40.0)、咳および上気道炎であり、1割程度が頭痛や全身倦怠感を訴えた。発症した32名は、医療機関におけるインフルエンザ迅速診断ではB型が24名、A型が2名陽性であった。このうち2つの医療機関で採取された4名および近隣の幼稚園児1名から採取した鼻腔ぬぐい液が当所に搬入された。これらの5検体についてHA遺伝子領域のRT-PCRを行い、その塩基配列を調べたところ、すべてがB型インフルエンザウイルス(Victoria系統)であった。

MDCK細胞を用いてウイルス分離を行ったところ、5検体ともに初代培養4日でCPEが観察された。このウイルス培養上清の0.5%ニワトリ赤血球でのHA価は256～512であった。国立感染症研究所(感染研)から配布された2011/12シーズンインフルエンザサーベイランスキットを用いて赤血球凝集抑制(HI)試験を実施した結果、分離されたウイルス株は抗B/Brisbane/60/2008(Victoria系統)血清(ホモHI価2,560)に対して、640のHI価を示した。その他、抗B/Bangladesh/3333/2007(山形系統)血清(同1,280)、抗A/California/07/2009(AH1pdm09)血清(同1,280)、抗A/Victoria/210/2009(H3N2)血清(同1,280)に対してはHI価が10未満であった。

HA遺伝子の系統樹解析では、感染研のプライマー情報に基づいてウイルス遺伝子のHA1領域の塩基配列を決定したところ、今回分離した5株すべての塩基配列が一致した。また、塩基配列から今回の分離株はN75K、N165K、S172Pのアミノ酸置換を持つB/Brisbane/60/2008株に代表されるBrisbane/60クレードに属し、L58Pのアミノ酸置換のあるグループ1に属していた。さらに、これらの株ではE198Gのアミノ酸置換が認められた。今シーズンに県内で分離された他の3株もBrisbane/60クレードのグループ1に属していたが、これらはE198Gのアミノ酸置換がなく、T182Aのアミノ酸置換を持つ点で今回の分離株とは異なっていた。

今シーズンに当所で検出あるいは分離したインフルエンザウイルス(2012年2月7日現在)は、90%(76/84)がAH3亜型で、10%(8/84)がB型であったが、B型の検出率が増えていることもあり、今後とも引き続き発生動向について注視していく必要がある。

兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センター

押部智宏 榎本美貴 高井伝仕 近平雅嗣

赤穂健康福祉事務所 山下勝也 富井智重 水野美枝子 安元兆

赤穂市民病院診療部長兼小児科部長 白石英幸

赤穂はくほう会病院小児科医長 一ノ瀬洋次郎

(IASR 2012年3月号掲載予定記事)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2012年2月3日 - 更新152

【要約】

- ・北半球温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は北アメリカ、西ヨーロッパ、北中国で顕著な地域的増加が報告されてはいるが、低いままである。
- ・熱帯地域諸国では、中国南部、コロンビア、エクアドル以外でインフルエンザの活動性は低いレベルであることが報告された。
- ・南半球温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は流行間期のレベルである。チリとオーストラリアで以前報告されたインフルエンザウイルスA(H3N2)の低いレベルの流行間期の伝播は減少し、より散発的となっているようである。
- ・北半球温帯地域諸国では、インフルエンザウイルスB型が優勢に報告されている中国とインフルエンザウイルスA(H1N1)pdm09が優勢な亜型として循環しているメキシコを除いて、最も共通に検出されているウイルスはA(H3N2)である。メキシコに加えていくつかのアメリカ南部の州と南アメリカの北方のコロンビアからは近々の週にA(H1N1)pdm09が優勢になったことも報告された。
- ・抗原解析されたほとんどすべてのA型は、現行の北半球の3価ワクチンに含まれているウイルスと抗原性が類似している。抗原解析された少数のB型の約半数は山形系統で、現行のワクチンに含まれていない。
- ・オセルタミビル耐性は非常に低いレベルで見られ、前シーズンに報告されたレベルを超えて著しく増加はしていない。

【北半球温帯地域諸国】

インフルエンザの活動性の持続的な増加傾向は北半球温帯地域のいたるところで報告され、軽症例数、重症例数ともこれまでのところ低い。

・北アメリカ

カナダでは1月第3週に全体的なインフルエンザの活動性が増加したが、いくつかの地域で低いままであった。カナダ全体でのインフルエンザ様疾患(ILI)の受診率はやや減少したが、検査陽性率は3.4%に増加した。7つの地域では地域的なインフルエンザの活動性が報告され、16の地域では散発的なインフルエンザの活動性が報告された。8事例のインフルエンザのアウトブレイクが報告され、病院が3事例、長期療養施設が5事例であり、前週より増加している。国内のILI受診率及びインフルエンザの一般的な活動性のレベルは例年のこの時期に比べ中等度から低い状態である。今週は18例(3例は小児、15例は成人)のインフルエンザ関連の入院が報告された。シーズンの始めから全ての小児の入院の38%は2歳未満で、一方全ての成人の入院の45%は65歳以上の患者であった。その期間では、検査確定例の79%がA型、21%がB型であり、亜型別されたA型の90%がA(H3N2)であった。注目すべきこととしてウイルスの型や亜型の分布は全ての年齢群を通して一様ではなかった。A(H1N1)pdm09と検査確定された全症例の53%、およびB型と検査確定された全症例の36%は5歳未満の患者であった。A(H1N1)pdm09は、5歳未満の症例の亜型別された全てのA型の33%を占めるが、65歳以上の症例の亜型別されたA型の3%しかなかった。カナダでは今シーズン解析されたすべてのA型の抗原性は現行の北半球

での3価ワクチンに含まれているウイルスに類似していた。しかし、B型は現行ワクチンに含まれているワクチン株と類似していたのは、35株中21株(60%)のみであった。他の14株のB型は抗原的に山形系統に属するB/Wisconsin/01/2010様レファレンスウイルスに類似していた。抗ウイルス耐性試験をした79株全てのA型はオセルタミビルとザナミビルに感受性であった。

米国では全国的にILI受診は低く(1.4%)、国のベースラインレベル(2.4%)より低いままであった。インフルエンザの検体陽性割合は4.9%に増加し、ある地域では14%もの高さになった。ILIの活動性は全ての州で低いか最小であることが報告された。122都市の定点サーベイランスにより報告された肺炎とインフルエンザによる死亡率は、数週間の間、季節性のベースラインを下回っていたが、シーズンが始まってから初めて流行の閾値に達した。2011年10月以来、166例の検査確定されたインフルエンザ入院例が報告された。これらの症例では、120例(72.3%)がA型、38例(22.9%)がB型、2例(1.2%)がA型とB型の混合感染であり、6例(3.6%)はウイルス型別の情報がなかった。52例の入院症例でA型インフルエンザの亜型情報があるもののうち、48例(92.3%)がA(H3N2)、4例(7.7%)がA(H1N1)pdm09であった。インフルエンザ感染による成人入院症例に最も共通に報告された基礎疾患は慢性肺疾患、喘息、肥満であった。インフルエンザ感染による小児の入院例に最も共通に報告された基礎疾患は神経学的異常と肥満であった。小児の入院症例の3分の1以上には特定の基礎疾患はなかった。米国で流行しているウイルスは、過去3週間A(H1N1)pdm09が優勢であった6州(アーカンソー、ルイジアナ、ニューメキシコ、オクラホマ、テキサス)を除いてほとんどがA(H3N2)である。A(H3N2)の99%とA(H1N1)pdm09の97%のウイルスは抗原的に現行の季節性3価インフルエンザワクチンに含まれているウイルスと類似していた。28例中14例の検査されたB型はビクトリア系統に属し、2011/2012シーズンの北半球のインフルエンザワクチンの成分であるB/Brisbane/60/2008類似であった。2011年10月1日以降に検査された全てのウイルスはノイラミニダーゼ阻害抗ウイルス薬であるオセルタミビルとザナミビルに感受性であった。

カナダ、米国と比べメキシコでは2011年12月下旬以降、インフルエンザ検査確定症例の大部分はA(H1N1)pdm09であった。A(H1N1)pdm09の地域的なアウトブレイクも国内の一部で検出され、大部分が南部の州であった。メキシコ保健省はそこでの状況が以前のシーズンと類似していること、ウイルスの挙動が変化しているというエビデンスはないことを報告した。

・ヨーロッパ諸国

ヨーロッパではインフルエンザの活動性は特に西部でゆっくり増加し、現在はA(H3N2)が優位である。ヨーロッパ諸国の西の地域では27カ国のうち23カ国で低いインフルエンザの活動性と報告されたのに対し、ブルガリア、アイスランド、イタリア、スペインは中等度の活動性を報告した。8カ国は局地的、地域的拡大を、9カ国は以前の週に比べ臨床的な活動性の傾向が増加していることを報告した。ウイルス検出の著明な増加傾向はスペイン、イタリア、トルコ、ベルギー、スウェーデン、ノルウェーで数週間を超えて継続していることが観察され、ヨーロッパにおける定点外来患者診療所から検査された検体の29%はインフルエンザ陽性で、この数週間増加を続けている。ブルガリア、アイスランド、イタリア、スペインはインフルエンザの活動性は中程度と報告した。イタリアはヘルスケアサービスへの中程度の影響を報告した。全ての原因による死亡率は昨年と同時期に比べ低いままである。東部では11カ国で重症急性呼吸器感染症(severe acute respiratory infections: SARI)が報告され、入院患者数は主として0～4歳の小児のSARI入院の増加が報告されているカザフスタンを除き前週と比べ大きくは変わらなかった。検出されたインフルエンザの95%がA型で、亜型別されたA型の99%がA(H3N2)であった。56株のインフルエ

ンザウイルスで抗原解析が行われ(46株のA(H3N2)と2株のA(H1N1)pdm09) 全てにおいて抗原性は現行の北半球の3価ワクチンのウイルスと類似性があった。8株のB型のうち、4株はワクチンに含まれるビクトリア系統のB/Brisbane/60/2008類似で、4株は山形系統であった。全35株(27株のA(H3N2)、4株のA(H1)pdm09、4株のB型を含む)はノイラミニダーゼ阻害薬に感受性であった。

・北アフリカと地中海東部

北アフリカと地中海東部ではウイルスの検出は広範のままだが、インフルエンザ検体の陽性数は減少傾向が報告され始めている。ヨーロッパ同様にA(H3N2)が優勢で、亜型別されたウイルスのほとんどすべてを占めている。

・アジア温帯地域諸国

中国北部ではILIによる外来受診率とインフルエンザの検体検査陽性率(13%)は前回の報告以来増加した。他の報告されている地域と比べB型が中国全土で優位である。2012年の第1週に、中国北部で亜型別された全てのウイルスの89%がB型であった。韓国と日本では近々の週のインフルエンザ陽性検体数の持続的な増加が報告され、A(H3N2)優位であった。インフルエンザは韓国国内に広がっている。

【熱帯地域諸国】

・アメリカ大陸の熱帯地域諸国

A(H1N1)pdm09とA(H3N2)の循環がコスタリカ、コロンビア、エクアドルで報告された。A(H1N1)pdm09はコロンビアとエクアドルで最も一般的に検出されるウイルスであり、A(H3N2)はコスタリカではやや多い。ウイルス検出の著明な増加傾向がエクアドルとコロンビアで数週間以上継続していることが観察された。

・サハラ以南のアフリカ

サハラ以南のアフリカでは散発的な検出と低いレベルの伝播が報告された。A(H3N2)とB型の散発的な循環がトーゴで報告され、カメルーンではA(H3N2)の症例が報告された。ケニアでは過去2週間B型の症例数増加が報告された。

・アジアの熱帯地域諸国

全体的に熱帯地域諸国でのインフルエンザの活動性は低い。9月以降インドでは低いレベルのB型インフルエンザの循環が続いていた。中国南部ではB型インフルエンザの症例数増加が報告されており、ILIによる受診割合が3.7%に増加し、これは近々の週より高く、昨年同時期よりも高い。インフルエンザの検体陽性率は34%で、それらのうち95%がB型であった。B型とA(H3N2)はこの地域の他の国、特にラオス、ベトナム、インドネシアで低い数の検出が続いていた。

【南半球温帯地域諸国】

南半球温帯地域諸国ではインフルエンザの活動性は流行間期のレベルである。以前特筆したチリとオーストラリアでのA(H3N2)の流行間期の伝播の継続は減少した。パラグアイはA(H3N2)優位のインフルエンザ陽性検体数の増加を報告した。

【査読された(信頼できる)文献から】

インフルエンザ肺炎患者でのステロイドの使用

2012年1月号のJournal of Infectionは、A(H1N1)pdm09による一次性ウイルス肺炎患者の生存におけるステロイド治療の効果を評価したDiazらの論文を掲載している¹⁾。研究はスペインでの148の集中治療室(intensive care units: ICU)における多施設前向き観察研究である。対象はA(H1N1)pdm09の微生物学的な確定が行われたインフルエンザ様症状とICU入室を必要とする急性の呼吸不全のある症例である。ICU入室の条件は気管内挿管の必要性によって決定された。一次性ウイルス肺炎は、2つ以上の肺葉にわたる明白な肺陰影がある急性呼吸窮迫(Acute Respiratory Distress)で、インフルエンザウイルス感染の急性期に血液および呼吸器検体からの細菌培養陰性で、インフルエンザウイルスのPCRが陽性的ものと定義された。ステロイド、抗菌薬、抗ウイルス薬および挿管については標準化は行われていない。A(H1N1)pdm09感染が確定された合計968例中、372例の一次性ウイルス肺炎患者が検討された。これらのうち、136例(36.6%)がステロイドを投与された。重症度と基本的な交絡因子で調整したコックス回帰分析(Cox regression analysis)において、ステロイド治療は死亡率と有意な関連性は見られなかった(RR=1.06, 95% CI 0.63-1.80; p=0.82)。著者らはA(H1N1)pdm09による一次性ウイルス肺炎患者におけるステロイド治療は生存率を改善しないと結論している。

コメント:

ステロイドと他の免疫調整剤(immune modulators)は急性呼吸窮迫症候群(ARDS)やインフルエンザ肺炎において免疫反応によるダメージを軽減する目的においてしばしば試用されてきた。他の研究者はステロイドの使用は有害な作用を及ぼすかもしれないとも報告している。Martin-LoechesらはA(H1N1)pdm09感染にてICU入室した患者への早期ステロイド投与は予後の改善には繋がらず、重複感染のリスクを増加させることを報告している²⁾。Brun-Buissonらもまた、インフルエンザ肺炎に伴うARDSの患者ではステロイドによって利益のある効果はなく、非常に早期のステロイド治療は有害かもしれないと述べている³⁾。Hanらは肺炎予防のための早期の経静脈的ステロイド投与はA(H1N1)pdm09感染による重症化や死亡のリスクを増加させると報告している⁴⁾。KimらはA(H1N1)pdm09感染にともなったICU入室例や人工呼吸管理を必要とする例における補助的ステロイド治療は死亡と重複感染のリスクを増加させると結論している⁵⁾。利用可能なデータに基づき、WHOは現在のところインフルエンザに関連した肺炎に対する全身的な高用量ステロイド投与は推奨していない。しかしながら、副腎不全状態や輸液や昇圧剤に反応しない敗血症性ショックにおいては生理的な補充量のステロイドは適応となるかもしれない⁶⁾。全身的な高用量ステロイドの長期の使用は、インフルエンザウイルス感染患者においては、日和見感染やおそらくウイルスの長期間にわたる増殖など深刻な副反応を来す可能性がある。一方ではステロイドの利益がリスクを上回るとされているインフルエンザ関連脳症のような他のインフルエンザ合併症もあるということは特筆されるべきである⁷⁾⁹⁾。これらの状況におけるステロイドの役割を明確にするために更なる研究が必要であり、決定的な研究結果がでるまではインフルエンザの合併症の治療においては、ステロイド使用による利益とリスクを勘案して臨床的な判断がなされるべきである。インフルエンザ合併症の治療に関しての更なる情報は、WHOガイドライン(WHO revised guidance on clinical management of human infection with pandemic(A/H1N1)2009)を参照されたい¹⁰⁾。

参考文献

1. Diaz E, Martin-Loeches I, Canadell L, Vidaur L, Suarez D, Socias L, et al. Corticosteroid therapy in patients with primary viral pneumonia due to pandemic (H1N1) 2009 influenza. *J Infect.* 2012.
2. Martin-Loeches I, Lisboa T, Rhodes A, Moreno RP, Silva E, Sprung C, et al. Use of early corticosteroid therapy on ICU admission in patients affected by severe pandemic (H1N1)v influenza A infection. *Intensive Care Med.* 2011; 37(2): 272-83.
3. Brun-Buisson C, Richard JC, Mercat A, Thiebaut AC, Brochard L. Early corticosteroids in severe influenza A/H1N1 pneumonia and acute respiratory distress syndrome. *Am J Respir Crit Care Med.* 2011; 183(9): 1200-6.
4. Han K, Ma H, An X, Su Y, Chen J, Lian Z, et al. Early use of glucocorticoids was a risk factor for critical disease and death from pH1N1 infection. *Clin Infect Dis.* 2011; 53(4): 326-33.
5. Kim SH, Hong SB, Yun SC, Choi WI, Ahn JJ, Lee YJ, et al. Corticosteroid treatment in critically ill patients with pandemic influenza A/H1N1 2009 infection: analytic strategy using propensity scores. *Am J Respir Crit Care Med.* 2011; 183(9): 1207-14.
6. Surviving Sepsis Campaign. *Surviving Sepsis Campaign: International guidelines for management of severe sepsis and septic shock: 2008.*
7. Ito S, Shima S, Ueda A, Kawamura N, Asakura K, Mutoh T. Transient splenic lesion of the corpus callosum in H1N1 influenza virus-associated encephalitis/encephalopathy. *Intern Med.* 2011; 50(8): 915-8.
8. Kawashima H, Togashi T, Yamanaka G, Nakajima M, Nagai M, Aritaki K, et al. Efficacy of plasma exchange and methylprednisolone pulse therapy on influenza-associated encephalopathy. *J Infect.* 2005; 51(2): E53-6.
9. Munakata M, Kato R, Yokoyama H, Haginoya K, Tanaka Y, Kayaba J, et al. Combined therapy with hypothermia and anticytokine agents in influenza A encephalopathy. *Brain Dev.* 2000; 22(6): 373-7.
10. WHO Clinical management of human infection with pandemic (H1N1) 2009: revised guidance.

【世界におけるインフルエンザウイルスの活動性】

第2～3週(2012年1月8～21日)において、84の国と地域及び領土の国家インフルエンザセンターと他の国家インフルエンザ検査室がデータを報告した。WHOのGISRSの検査室は31,292件以上の検体を検査した。4,709件がインフルエンザウイルス陽性で、そのうち3,633件(77.2%)がA型、1,076件(22.8%)がB型で、亜型別されたA型のうち、668件(22.9%)がA(H1N1)pdm09、2,250件(77.1%)がA(H3N2)であった。解析されたB型のうち、90件(33.5%)が山形系統、179件(66.5%)がビクトリア系統であった。

・要約

2012年第2～3週において、北半球の多くの国々で検査確定されたインフルエンザの活動性は増加が続いていたが、一般に活動性は穏やかなままであった。

世界的にA(H3N2)が優位なウイルスである状況が続いた。概して、A(H1N1)pdm09が優位であるメキシコと主要な循環型がB型であるいくつかのアジアの国々を除いて、A(H1N1)pdm09とB型の活動性は低かった。B型の山形系統とビクトリア系統の株は共に循環しており、検出さ

れたウイルスの大部分はビクトリア系統に属する。

ヨーロッパ、中東、北アフリカ、北アメリカでは、A(H3N2)の活動性は多くの国で増加が続き、地域的なものから広範なものまで報告された。B型は一般に散発的に検出されたA(H1N1)pdm09と共に低いレベルで検出された。

アジアではA(H3N2)とB型の活動性は多くの国々で増大が続いており、B型は中国、中国香港特別行政区で優位であり、A(H3N2)は他の多くの国々で優位であった。A(H1N1)pdm09は低いレベルで検出された。

南半球ではインフルエンザの活動性は低いままであった。散発的な検出ではA(H3N2)が大部分であった。

A(H5N1)感染のヒト症例が中国で報告された。ウイルスはクレード2.3.4.2に属し、塩基配列からノイラミニダーゼ阻害薬とアダマンタン誘導体に感受性であると想定されている。開発されたリアソータントワクチンウイルスの候補株との抗原的な関連性を含めて、更なる解析が中国CDCのWHOコラボレーティングセンターで行われている。

ガーナにおける黄熱

2012年2月3日

2011年12月20日、ガーナ保健省はアッパー・イースト州(Upper East Region)のビルザ(Builsa)とカセナ・ナンカナ・ウエスト(Kassena-Nankana-West)、ガーナ中西部ブロング・アハフォ州(Brong Ahafo Region)のキタンボサウス(Kitampo-South)の3つの地区で起きている黄熱のアウトブレイクをWHOに報告した。

2例の死亡を含む合計3例の検査確定例が発熱と黄疸の臨床症状により黄熱サーベイランスで検知された。

カセナ・ナンカナ・ウエスト地区から報告された初発例は12歳男児で、ブルキナファソと国境を接する森にある父の農場に父と向かうところだった。2011年10月11日に発症し、10月18日にサンデマ病院(Sandema Hospital)で死亡するまで状態は悪化し続けた。地区のアウトブレイクチームは発生した地域を調査したが追加症例は見つからなかった。

黄熱ワクチン供給のための国際調整グループ(International Coordinating Group on Yellow Fever Vaccine Provision: YF-ICG)と欧州共同体人道援助局(European Community Humanitarian Office: ECHO)のサポートによって、2012年2月6日から対応的な予防接種キャンペーンを始めることが計画された。発生地域の妊婦と1歳未満の子供を除く235,000人以上が接種の対象とされている。

この活動は国によって行われる2段階の黄熱集団予防接種を補完する予定である。第1段階は2011年11月に実施され8つの州の40地区の580万人を対象とした。さらに3つの地区で対応的な予防接種キャンペーンが行われた。第2段階が今年計画されており、17地区にわたる170万人を対象としている。

カメルーンにおける黄熱

2012年2月3日

2011年12月、カメルーン保健省はカメルーン北部における黄熱のアウトブレイクをWHOに報告した。

2011年10月以降に、ガイダー(Guider)、ビベミ(Bibemi)、ガシガ(Gaschiga)、ラグド(Lagdo)

マヨアウロ(Mayo Oulo)、ゴロンベ(Golombe)から7例の死亡を含む23例が報告された。これらの症例は発症から14日以内に、発熱と黄疸の症状によってサーベイランスシステムの一部として探知された。

6つの保健地区からの少なくとも13例がカメルーンパスツール研究所でIgM ELISA試験によって確認された。その後、WHOの黄熱地域レファレンス検査室であるセネガルのダカールパスツール研究所において、黄熱に最も特異的な試験である血清中和試験(plaque reduction neutralization test : PRNT)と、デングウイルスとウエストナイルウイルスの鑑別診断が行われ、検査確定された。

WHO国事務所は、症例の確定とアウトブレイクの拡大の評価を行うための実地調査において、政府/保健機関と協力している。

GAVIアライアンス(GAVI Alliance)、国連中央緊急対応基金(UN Central Emergency Response Fund : CERF)、黄熱ワクチン供給のための国際調整グループ(International Coordinating Group on Yellow Fever Vaccine Provision : YF-ICG)は、ハイリスクと考えられる8つの保健地区である、ガイダー、ピベミ、ガシガ、ラグド、マヨアウロ、ガロウアI(Garoua I)、ガロウアII(Garoua II)およびゴロンベの120万人以上に接種することを目的とする集団予防接種キャンペーンを支援している。

ワクチンキャンペーンは2012年1月23日に始まり、過去に黄熱のアウトブレイクや黄熱ウイルスの循環がなかったために2009年の予防的集団予防接種キャンペーンでカバーされなかったこれらの8つの保健地区をカバーしている。

鳥インフルエンザベトナムにおける状況

2012年2月8日 更新

ベトナム保健省は鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)のヒト感染確定症例を発表した。

症例はソクチャン(Soc Trang)省の26歳の妊婦である。女性は2012年1月23日に発症し、25日に入院した。27日にオセルタミビルが処方されたが、28日に死亡した。A(H5N1)の検査室確定診断結果は30日にベトナム、ホーチミン市にあるWHO国家インフルエンザセンターであるパスツール研究所によって得られた。この死亡例の新生児からの検体の検査はH5N1陰性であった。

症例は病鳥をと殺し、食していた。保健省、地域の保健部局、ホーチミン市のパスツール研究所が疫学調査を実施し、サーベイランスと対応活動を強化した。死亡例との濃厚接触者は予防投薬を受け、健康観察が行われているが、現在までのところ全員健康である。動物の衛生部局は、人の保健部門と共同して活動している。

この症例はベトナムでH5N1ウイルスに感染した121例目である。これまでに、このうち61例が合併症により死亡している。

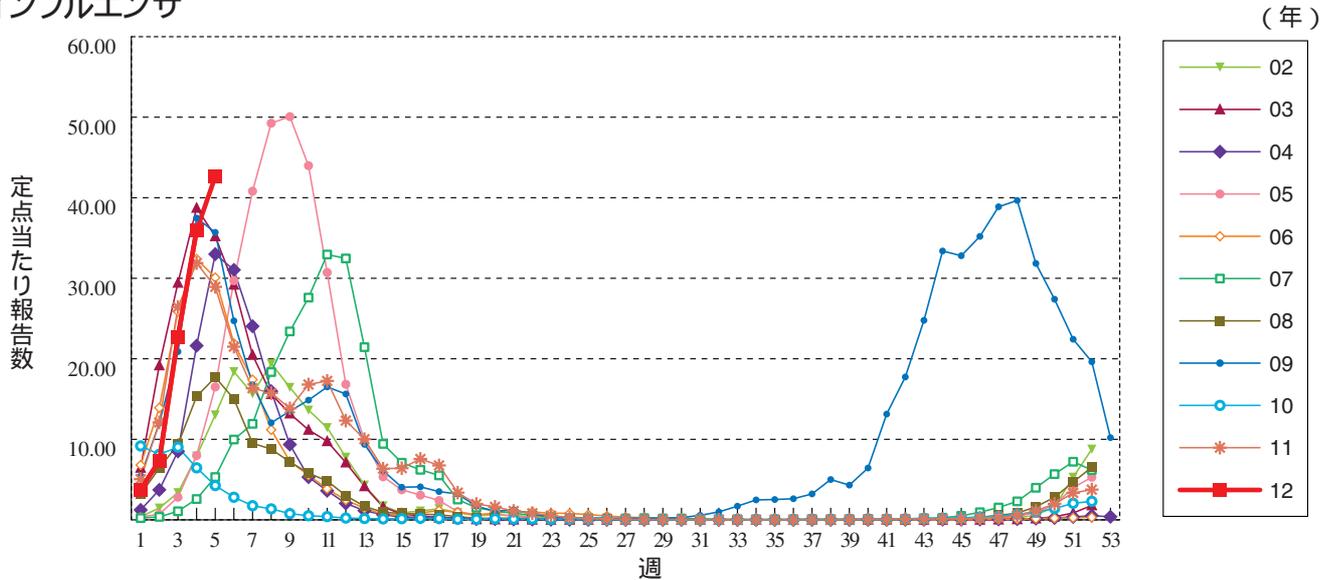


感染症の話

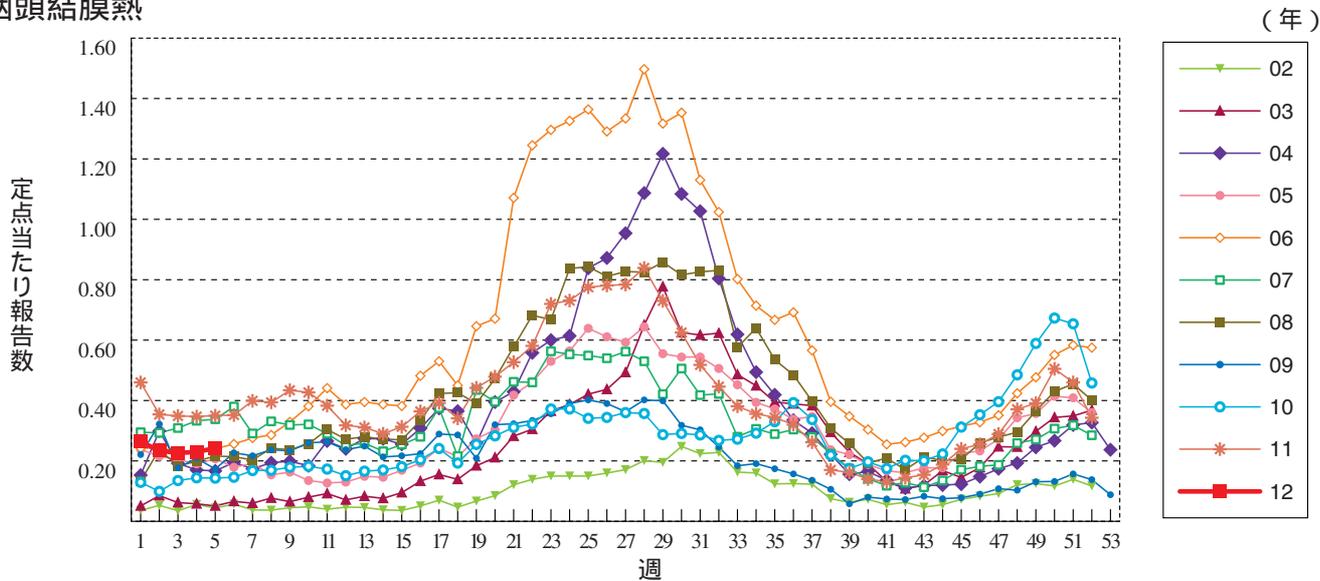
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(5週)

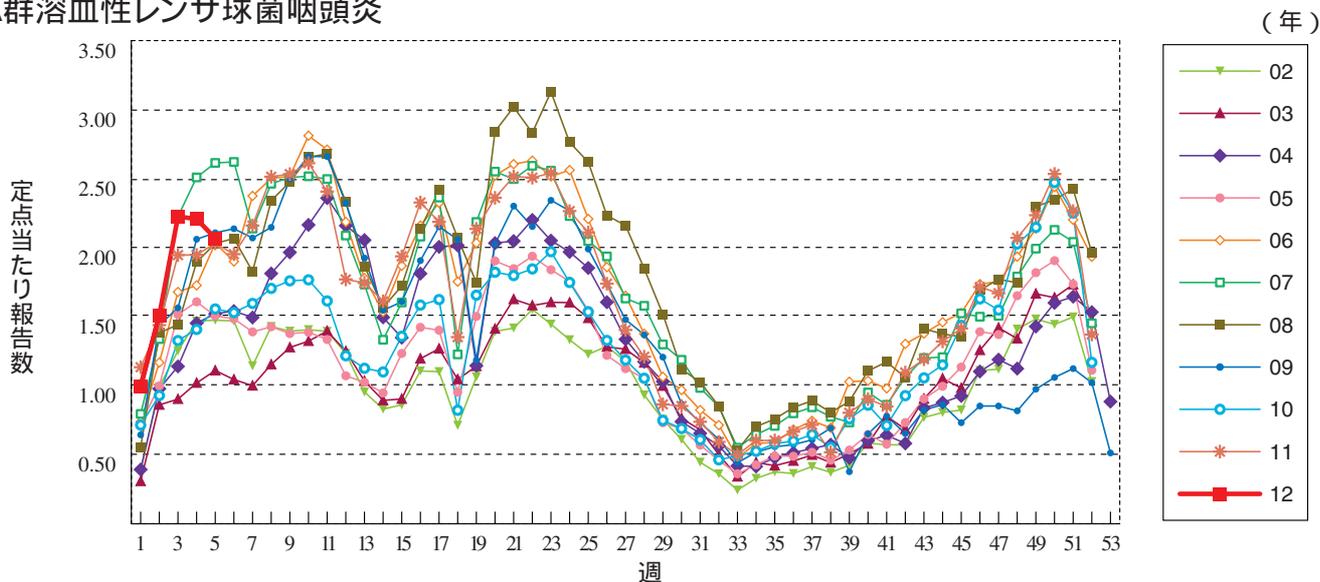
インフルエンザ



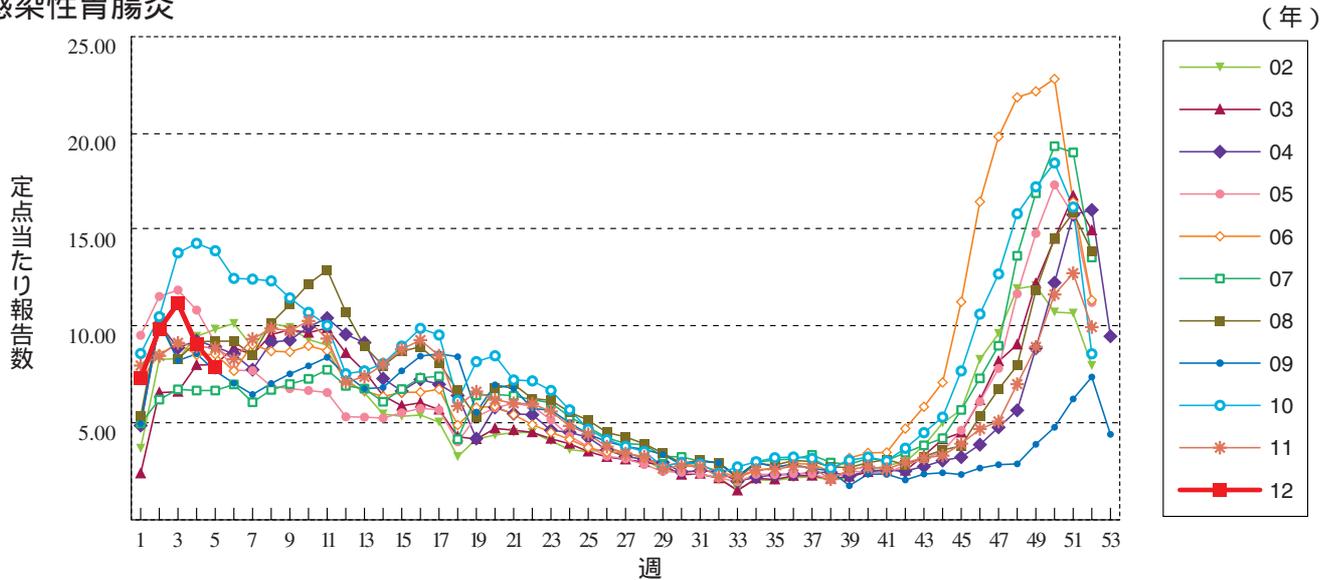
咽頭結膜熱



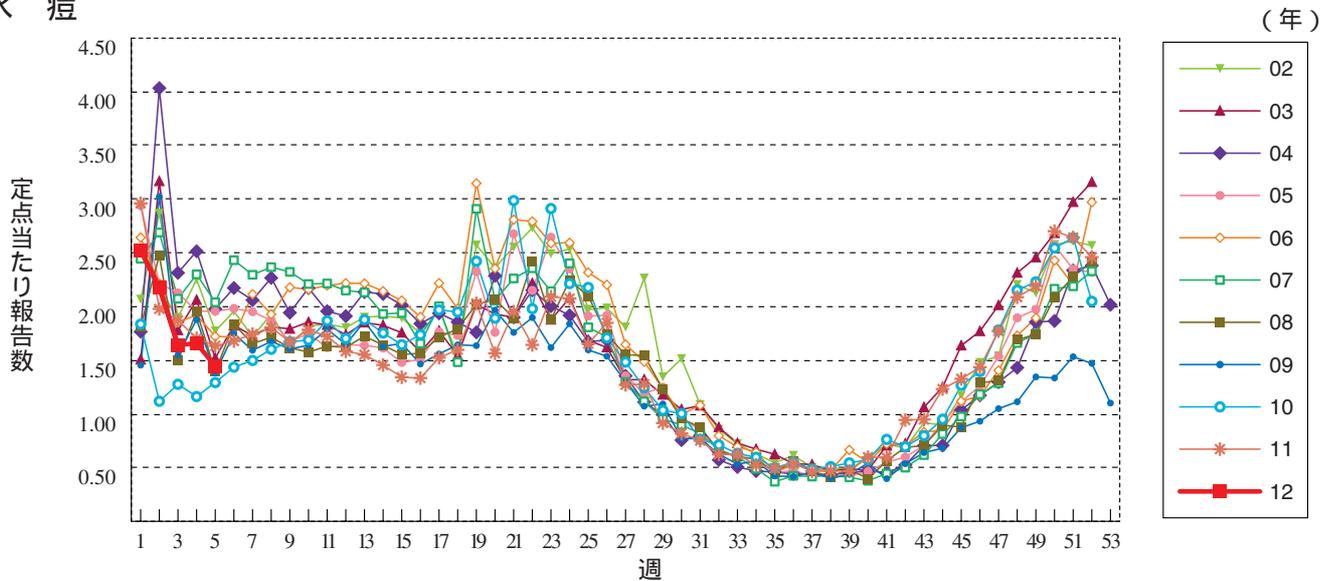
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



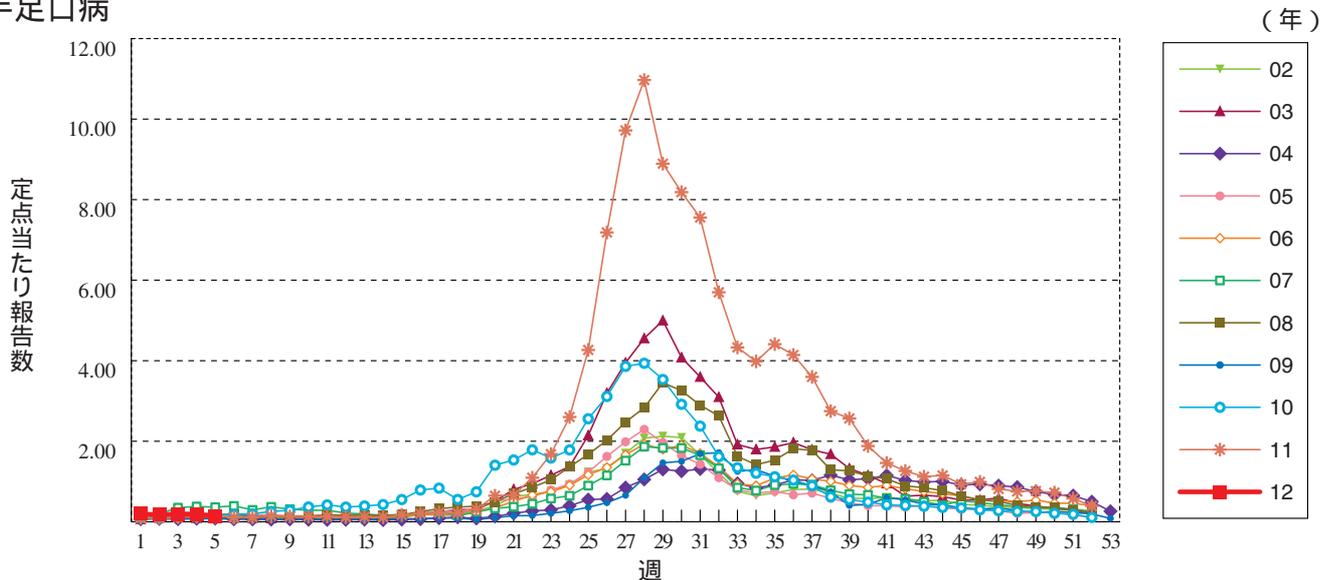
感染性胃腸炎



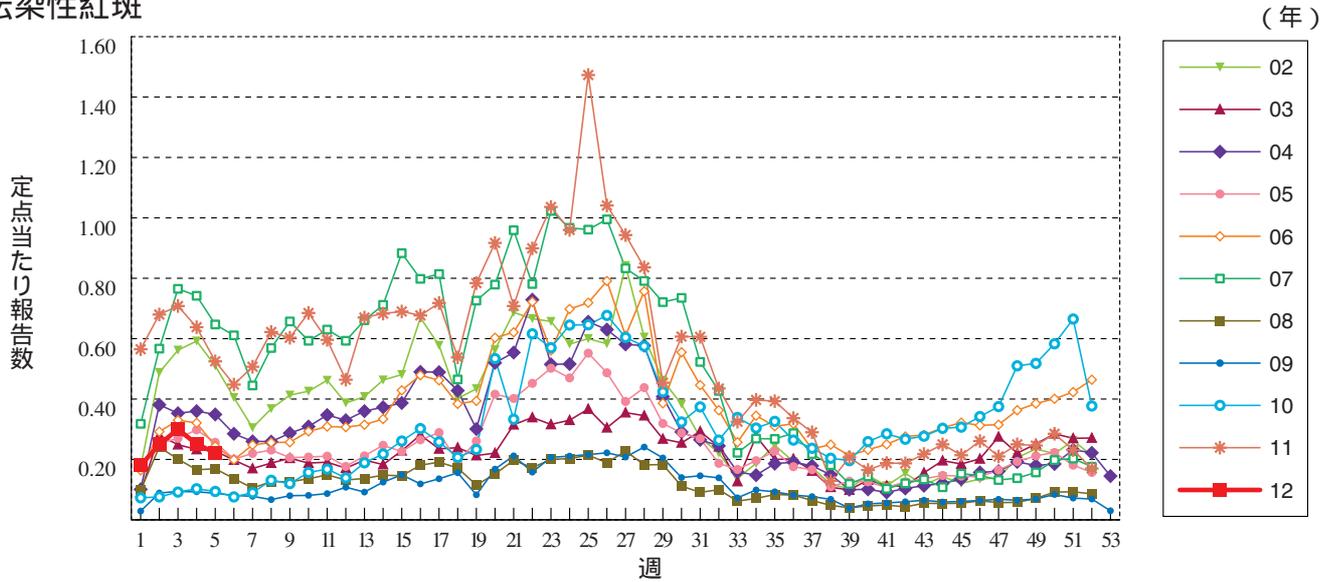
水痘



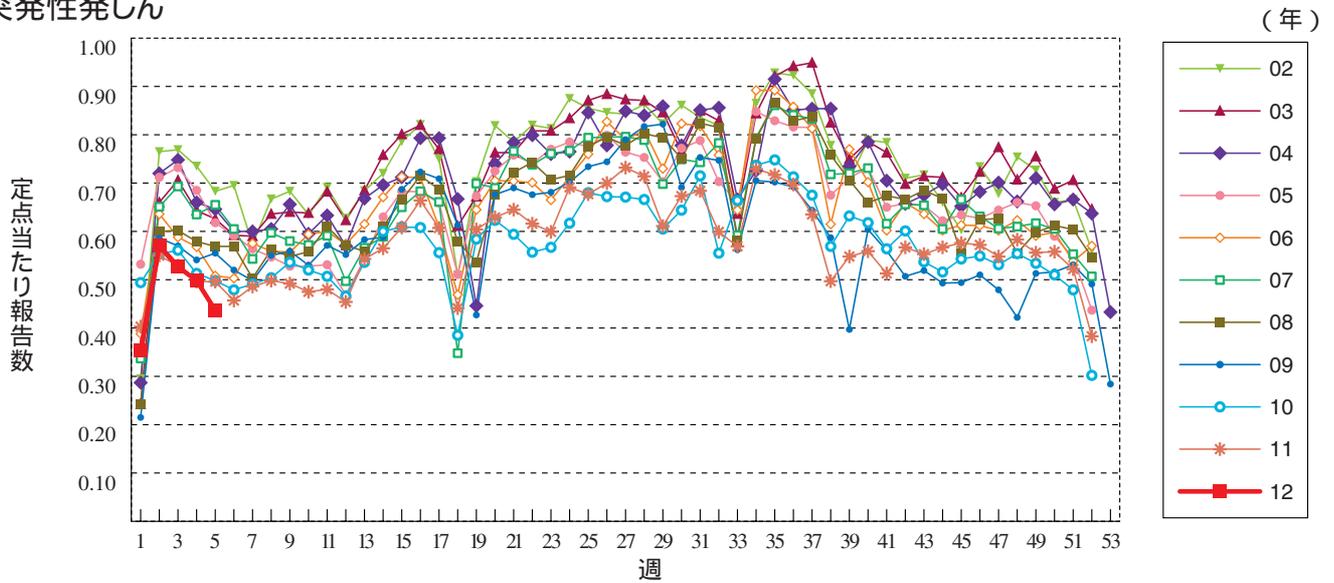
手足口病



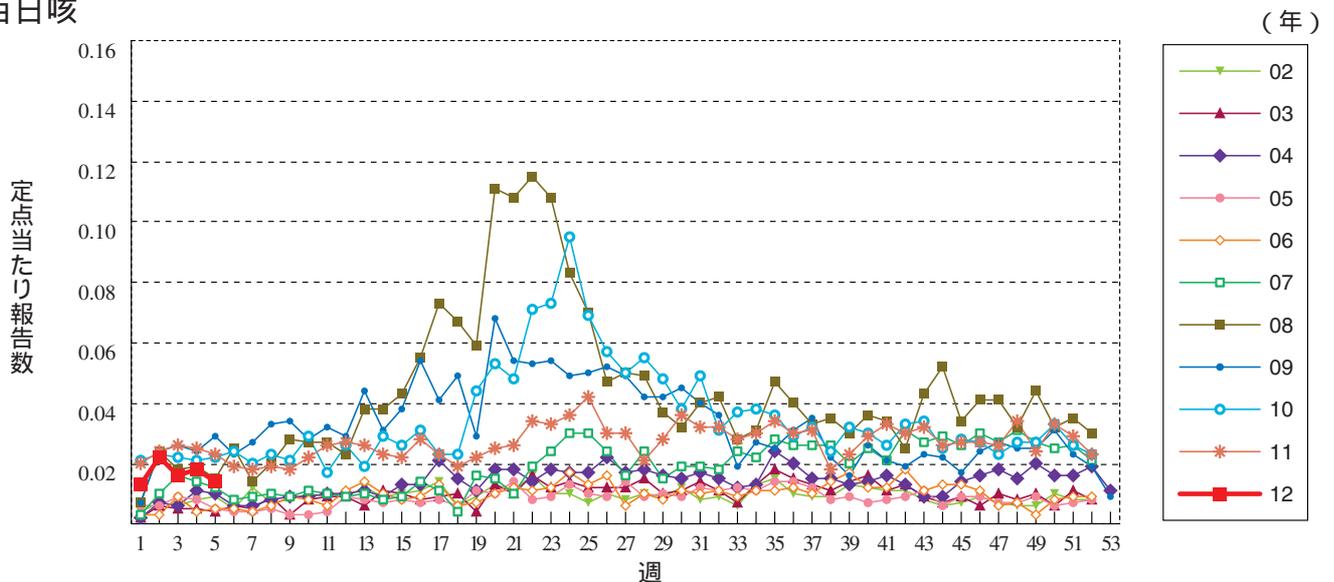
伝染性紅斑



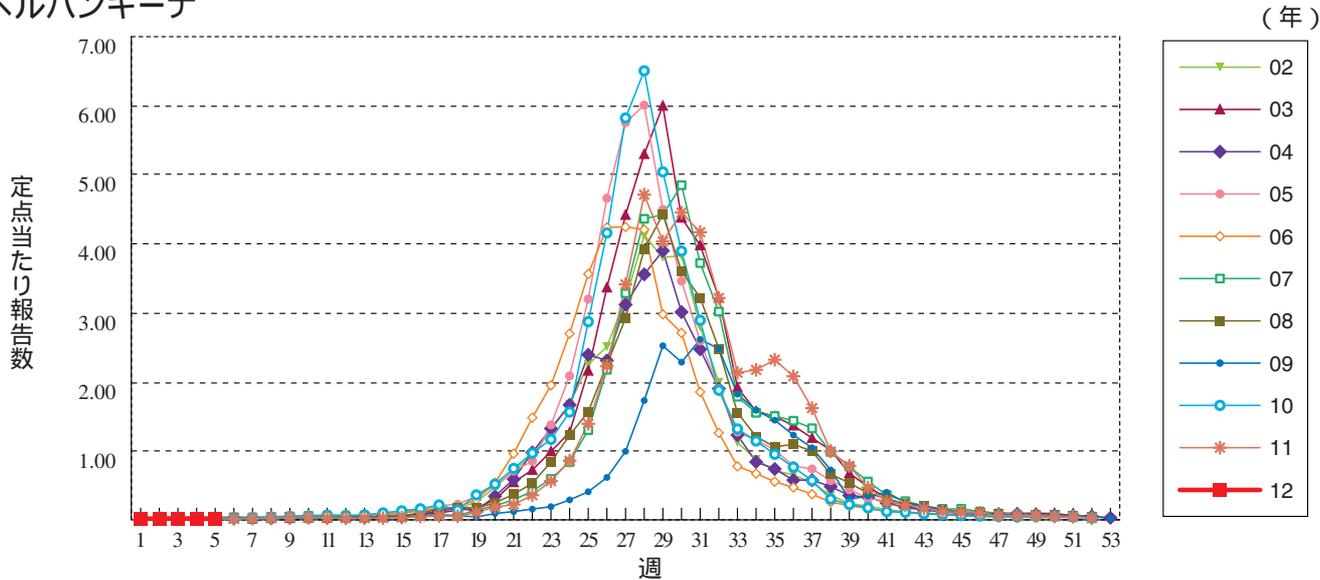
突発性発しん



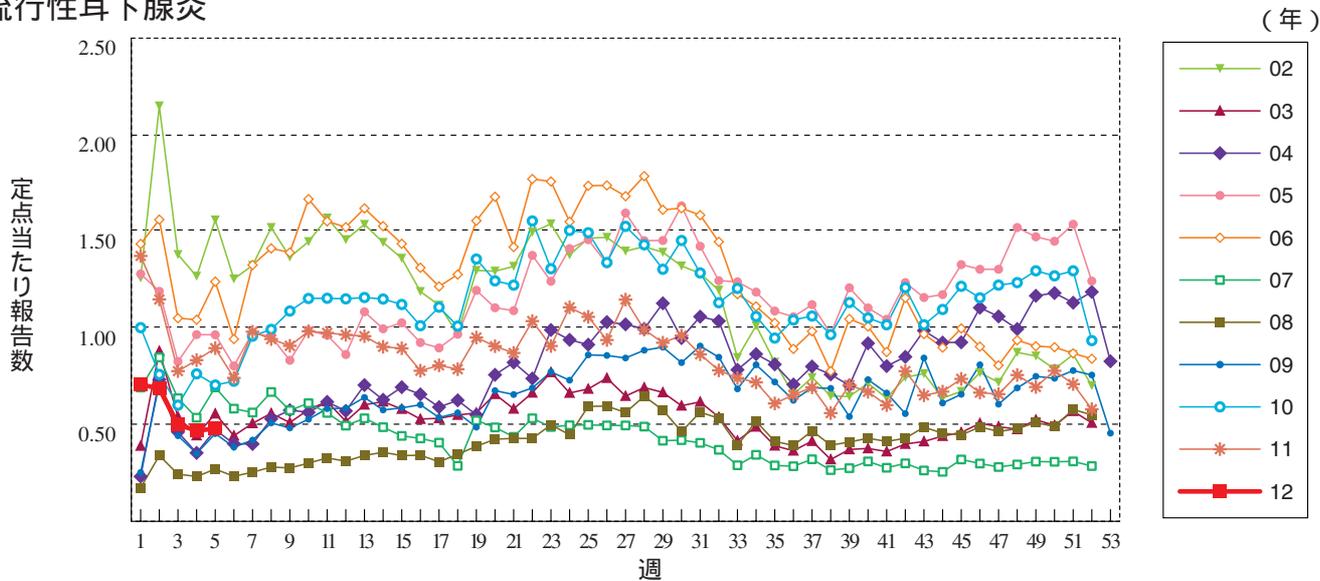
百日咳



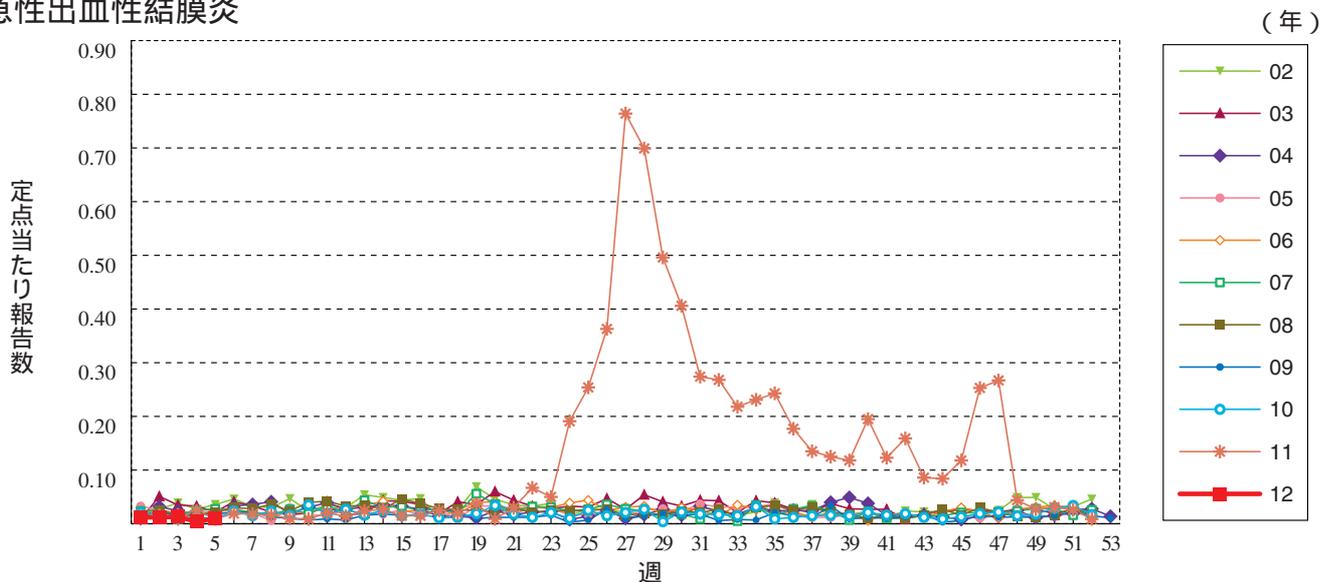
ヘルパンギーナ



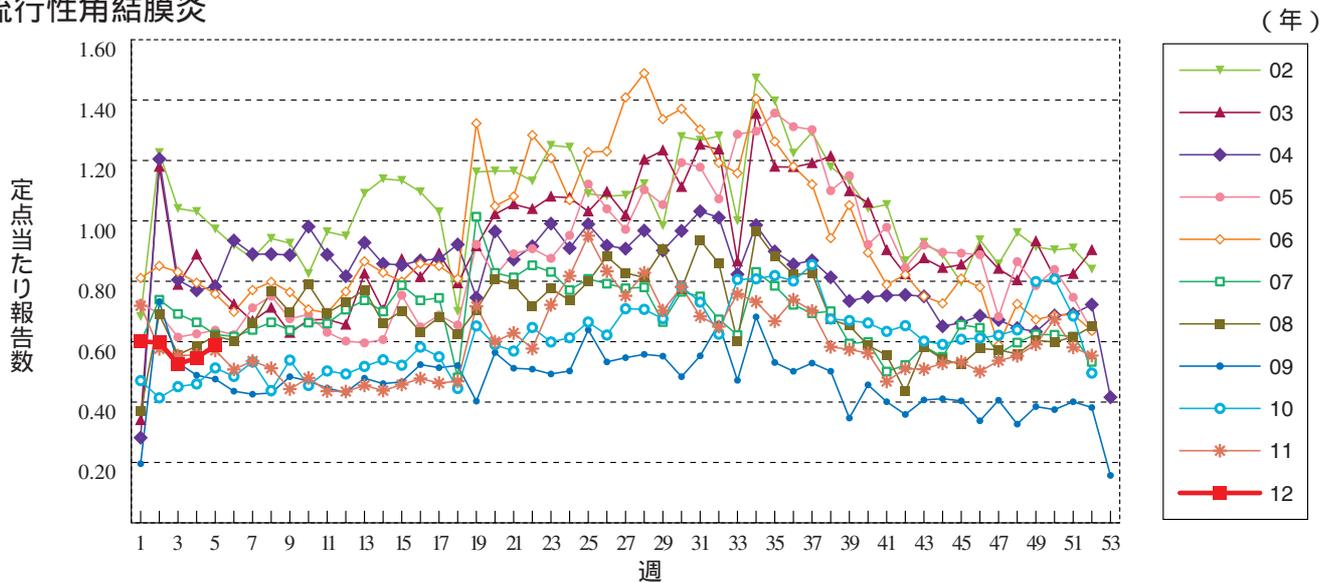
流行性耳下腺炎



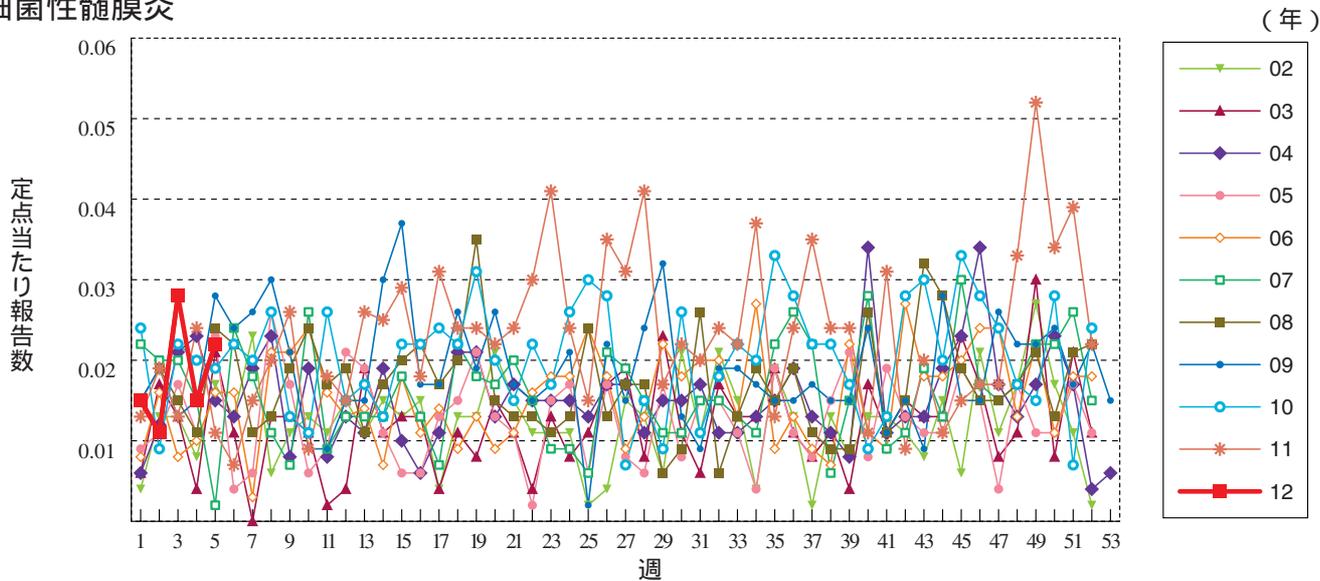
急性出血性結膜炎



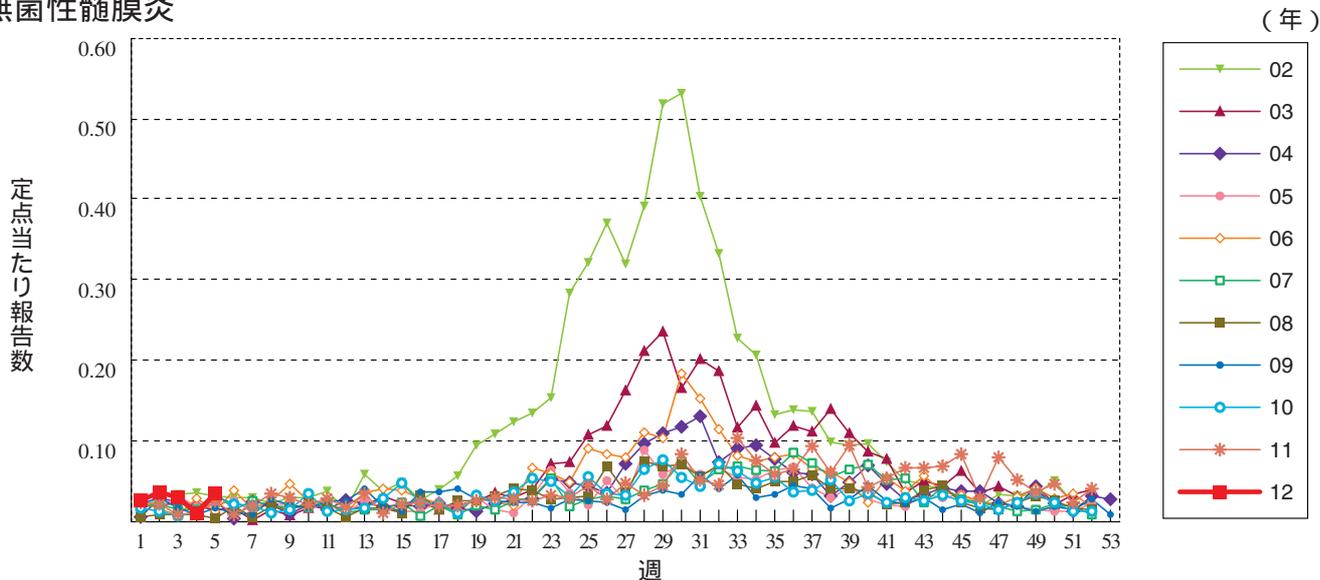
流行性角結膜炎



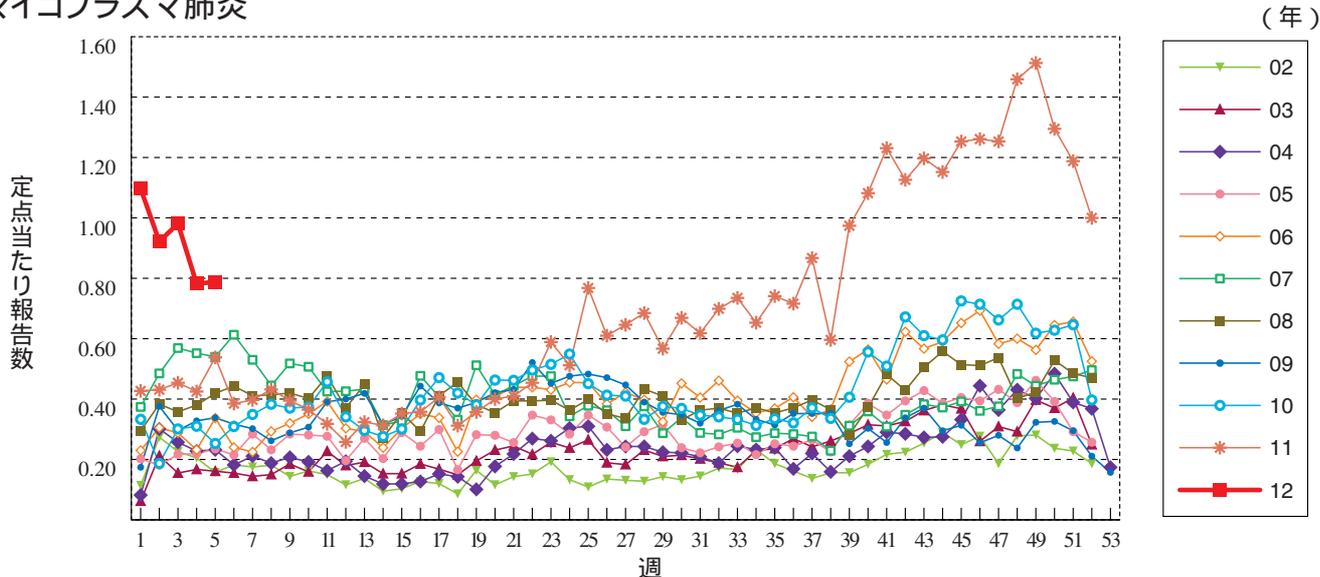
細菌性髄膜炎



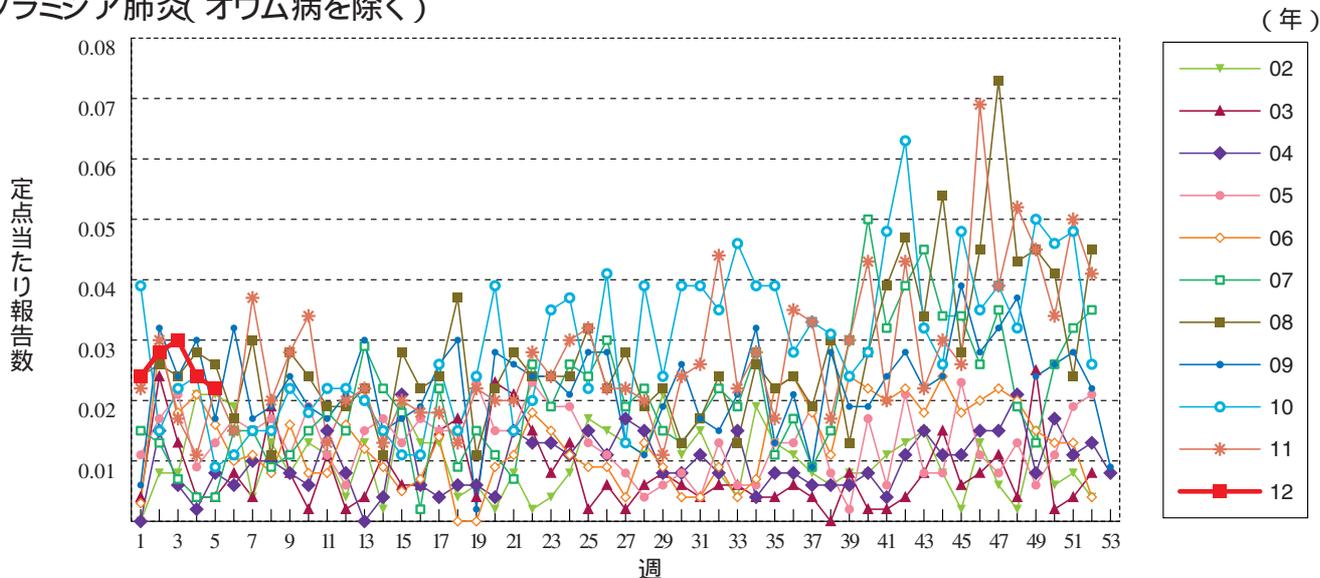
無菌性髄膜炎



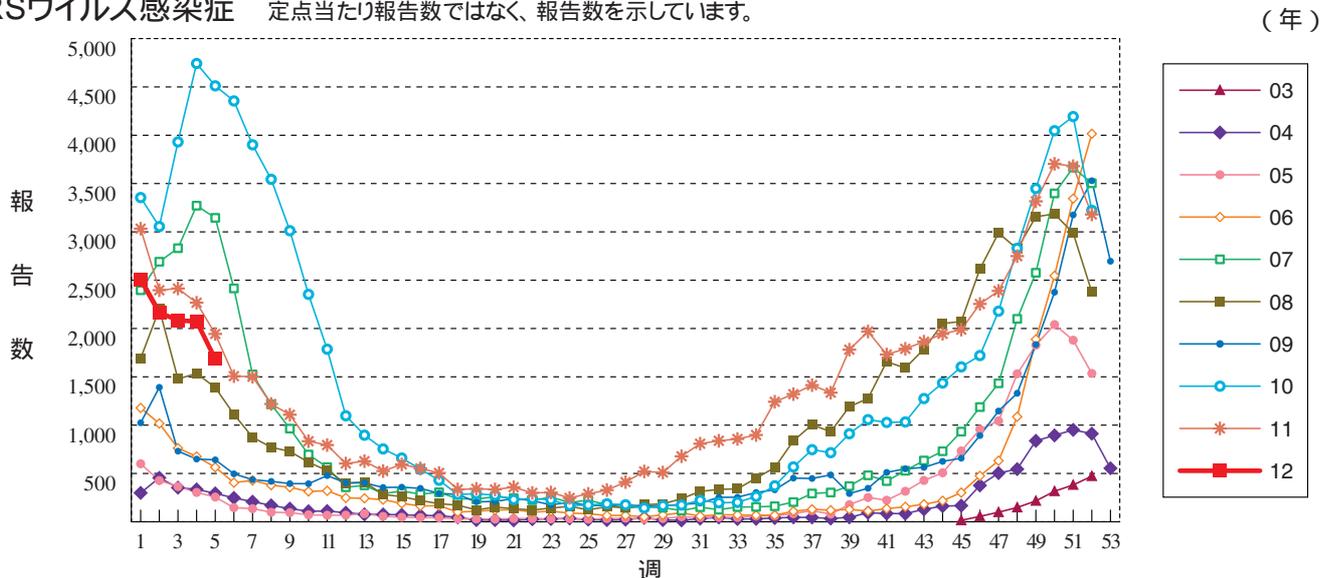
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





5週のデータ

注)表中の報告数は2月8日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年5週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	398	2124
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	58
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	33
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	18
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	32
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	20
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	25
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	53
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	23
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	95
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	124
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	338
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	158
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	26
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	17
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	15
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	25
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	34
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	34
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	155
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	25
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	35
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	99
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	81
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	37
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	54
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	29
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	109
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	14
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	34
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	25
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	20
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	31
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	14

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	2	14	15	67	-	-	-	1	2	14
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	20	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	49
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年5週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	60	-	1	-	-	11	73	3	16	11	60	-	1
北海道	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	1	4	-	-	1	4	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	10	-	-
東京都	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	5	15	1	5	-	4	-	1
神奈川県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	6	-	-	1	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	11	-	3	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	4	1	1	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	12	7	31	11	118	-	1	-	2	-	-	12	60	2	10	-	-
北海道	1	1	-	5	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
栃木県	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
千葉県	-	3	1	3	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	5	40	-	-	-	-	-	-	3	21	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	1	1	2	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛知県	-	-	1	2	-	9	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
高知県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年5週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	8	5	24	10	37
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-
群馬県	1	1	1	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	4
東京都	1	2	2	6	1	5
神奈川県	-	-	-	1	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	3	4
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	4	9
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	2	-	1
京都府	-	-	1	3	-	1
大阪府	-	2	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	1	6
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	209974	42.62	759	0.24	6488	2.07	24854	7.92	4529	1.44	451	0.14	696	0.22	1370	0.44	44	0.01
北海道	9569	42.15	48	0.34	577	4.03	559	3.91	170	1.19	39	0.27	16	0.11	54	0.38	3	0.02
青森県	2742	42.18	4	0.10	109	2.60	112	2.67	76	1.81	-	-	1	0.02	18	0.43	1	0.02
岩手県	3716	58.98	2	0.05	73	1.83	149	3.73	96	2.40	-	-	22	0.55	19	0.48	-	-
宮城県	2434	26.17	11	0.19	230	3.97	539	9.29	89	1.53	6	0.10	6	0.10	25	0.43	-	-
秋田県	1930	35.09	7	0.20	45	1.29	155	4.43	32	0.91	2	0.06	3	0.09	7	0.20	-	-
山形県	2126	44.29	4	0.13	87	2.90	226	7.53	58	1.93	3	0.10	4	0.13	19	0.63	-	-
福島県	3756	46.95	6	0.13	182	3.79	239	4.98	73	1.52	21	0.44	26	0.54	20	0.42	-	-
茨城県	4247	35.39	7	0.09	130	1.73	450	6.00	77	1.03	5	0.07	6	0.08	19	0.25	-	-
栃木県	2753	36.22	7	0.15	52	1.08	238	4.96	47	0.98	2	0.04	6	0.13	18	0.38	4	0.08
群馬県	1804	18.41	16	0.27	156	2.60	525	8.75	123	2.05	6	0.10	4	0.07	29	0.48	3	0.05
埼玉県	12583	50.94	21	0.13	337	2.15	1265	8.06	254	1.62	18	0.11	19	0.12	67	0.43	1	0.01
千葉県	10523	50.84	48	0.37	388	3.01	1144	8.87	176	1.36	13	0.10	14	0.11	51	0.40	5	0.04
東京都	18939	45.20	60	0.23	529	2.00	2062	7.81	278	1.05	12	0.05	71	0.27	124	0.47	6	0.02
神奈川県	16271	48.86	16	0.08	248	1.20	1581	7.64	248	1.20	19	0.09	36	0.17	112	0.54	1	0.00
新潟県	2211	23.27	66	1.10	178	2.97	753	12.55	100	1.67	13	0.22	16	0.27	30	0.50	-	-
富山県	1642	34.21	12	0.41	163	5.62	239	8.24	49	1.69	11	0.38	4	0.14	7	0.24	-	-
石川県	2671	55.65	14	0.48	130	4.48	232	8.00	62	2.14	21	0.72	2	0.07	7	0.24	-	-
福井県	2061	64.41	10	0.45	116	5.27	334	15.18	50	2.27	7	0.32	5	0.23	5	0.23	-	-
山梨県	1513	37.83	6	0.25	25	1.04	188	7.83	10	0.42	9	0.38	5	0.21	4	0.17	-	-
長野県	3645	41.42	4	0.07	128	2.33	652	11.85	82	1.49	7	0.13	54	0.98	23	0.42	-	-
岐阜県	3145	36.15	7	0.14	45	0.88	270	5.29	55	1.08	4	0.08	13	0.25	15	0.29	-	-
静岡県	6761	50.83	20	0.24	121	1.44	548	6.52	122	1.45	7	0.08	9	0.11	38	0.45	-	-
愛知県	9144	47.38	28	0.16	217	1.21	1396	7.80	192	1.07	15	0.08	59	0.33	70	0.39	3	0.02
三重県	2864	39.78	15	0.33	46	1.02	389	8.64	76	1.69	15	0.33	2	0.04	30	0.67	1	0.02
滋賀県	2019	38.09	1	0.03	67	2.09	231	7.22	49	1.53	18	0.56	2	0.06	13	0.41	-	-
京都府	4988	41.57	6	0.08	59	0.83	395	5.56	67	0.94	16	0.23	4	0.06	12	0.17	-	-
大阪府	13398	44.81	24	0.12	328	1.68	1295	6.64	285	1.46	18	0.09	38	0.19	64	0.33	5	0.03
兵庫県	8450	42.46	30	0.23	163	1.26	1125	8.72	202	1.57	18	0.14	30	0.23	60	0.47	-	-
奈良県	2280	41.45	7	0.20	21	0.60	167	4.77	32	0.91	5	0.14	4	0.11	12	0.34	-	-
和歌山県	1861	37.22	3	0.10	30	0.97	220	7.10	26	0.84	1	0.03	4	0.13	9	0.29	-	-
鳥取県	863	29.76	6	0.32	65	3.42	125	6.58	35	1.84	8	0.42	31	1.63	14	0.74	-	-
島根県	830	21.84	5	0.22	18	0.78	155	6.74	34	1.48	1	0.04	32	1.39	10	0.43	-	-
岡山県	2563	30.51	5	0.09	42	0.78	412	7.63	42	0.78	15	0.28	7	0.13	15	0.28	-	-
広島県	4133	35.94	33	0.46	124	1.72	676	9.39	79	1.10	9	0.13	13	0.18	30	0.42	1	0.01
山口県	3563	51.64	10	0.21	137	2.85	324	6.75	112	2.33	-	-	17	0.35	28	0.58	-	-
徳島県	1732	45.58	5	0.22	35	1.52	129	5.61	43	1.87	4	0.17	15	0.65	13	0.57	-	-
香川県	2245	45.82	4	0.13	22	0.73	146	4.87	23	0.77	12	0.40	23	0.77	16	0.53	-	-
愛媛県	2272	37.25	8	0.22	59	1.59	373	10.08	59	1.59	10	0.27	17	0.46	20	0.54	-	-
高知県	2602	54.21	2	0.07	52	1.73	152	5.07	34	1.13	1	0.03	20	0.67	13	0.43	-	-
福岡県	8447	42.66	72	0.60	350	2.92	1303	10.86	252	2.10	2	0.02	4	0.03	76	0.63	3	0.03
佐賀県	1243	31.87	19	0.83	62	2.70	154	6.70	55	2.39	-	-	-	-	16	0.70	-	-
長崎県	1703	24.33	17	0.39	78	1.77	432	9.82	51	1.16	2	0.05	5	0.11	19	0.43	-	-
熊本県	3594	44.93	19	0.40	55	1.15	715	14.90	87	1.81	-	-	7	0.15	34	0.71	1	0.02
大分県	2649	45.67	6	0.17	203	5.64	889	24.69	72	2.00	1	0.03	11	0.31	21	0.58	-	-
宮崎県	3211	55.36	17	0.49	72	2.06	473	13.51	91	2.60	10	0.29	6	0.17	31	0.89	1	0.03
鹿児島県	4392	47.74	16	0.30	110	2.04	615	11.39	150	2.78	30	0.56	3	0.06	19	0.35	-	-
沖縄県	1886	32.52	5	0.15	24	0.71	103	3.03	54	1.59	15	0.44	-	-	14	0.41	5	0.15

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	43	0.01	1507	0.48	7	0.01	399	0.59	10	0.02	16	0.03	365	0.79	10	0.02	1684	
北海道	1	0.01	20	0.14	-	-	10	0.34	-	-	-	-	6	0.26	-	-	92	
青森県	-	-	27	0.64	-	-	8	0.73	-	-	-	-	10	1.67	-	-	18	
岩手県	1	0.03	37	0.93	-	-	8	0.57	-	-	2	0.11	23	1.21	-	-	21	
宮城県	-	-	69	1.19	-	-	4	0.33	1	0.08	-	-	14	1.17	-	-	19	
秋田県	-	-	10	0.29	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.38	-	-	13	
山形県	-	-	51	1.70	-	-	-	-	1	0.10	-	-	16	1.60	-	-	8	
福島県	1	0.02	16	0.33	-	-	8	0.67	-	-	-	-	8	1.14	-	-	39	
茨城県	2	0.03	42	0.56	-	-	24	1.41	-	-	-	-	7	0.54	-	-	11	
栃木県	2	0.04	27	0.56	-	-	9	0.75	-	-	-	-	11	1.57	1	0.14	11	
群馬県	-	-	70	1.17	-	-	18	1.29	-	-	3	0.38	7	0.88	-	-	14	
埼玉県	-	-	45	0.29	-	-	16	0.39	-	-	-	-	28	3.11	3	0.33	36	
千葉県	-	-	31	0.24	-	-	28	0.82	-	-	-	-	1	0.11	1	0.11	32	
東京都	7	0.03	39	0.15	-	-	20	0.53	-	-	3	0.12	19	0.76	-	-	68	
神奈川県	2	0.01	37	0.18	1	0.02	41	0.89	1	0.13	-	-	-	-	-	-	57	
新潟県	-	-	77	1.28	-	-	12	1.20	-	-	-	-	9	0.69	2	0.15	16	
富山県	2	0.07	12	0.41	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	4	0.80	-	-	8	
石川県	-	-	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.80	-	-	6	
福井県	-	-	5	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	-	-	4	
山梨県	-	-	13	0.54	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.10	-	-	4	
長野県	-	-	27	0.49	-	-	11	1.00	2	0.18	-	-	6	0.55	-	-	34	
岐阜県	-	-	48	0.94	-	-	1	0.09	-	-	-	-	8	1.60	-	-	34	
静岡県	-	-	49	0.58	-	-	8	0.40	-	-	-	-	2	0.22	-	-	51	
愛知県	-	-	73	0.41	1	0.03	6	0.18	1	0.08	-	-	23	1.92	-	-	91	
三重県	2	0.04	17	0.38	-	-	1	0.08	-	-	-	-	4	0.44	-	-	22	
滋賀県	-	-	15	0.47	-	-	1	0.13	-	-	-	-	2	0.29	-	-	28	
京都府	1	0.01	11	0.15	1	0.06	9	0.50	-	-	-	-	6	0.86	-	-	15	
大阪府	5	0.03	38	0.19	-	-	11	0.23	-	-	-	-	23	1.53	1	0.07	149	
兵庫県	2	0.02	41	0.32	-	-	13	0.37	-	-	-	-	9	0.75	2	0.17	93	
奈良県	-	-	12	0.34	-	-	3	0.33	-	-	-	-	4	0.67	-	-	15	
和歌山県	-	-	7	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.00	-	-	13	
鳥取県	-	-	32	1.68	-	-	3	1.00	-	-	-	-	7	1.40	-	-	13	
島根県	-	-	16	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.38	-	-	50	
岡山県	1	0.02	28	0.52	-	-	2	0.17	-	-	-	-	7	1.40	-	-	18	
広島県	2	0.03	28	0.39	-	-	20	1.05	-	-	1	0.05	6	0.29	-	-	81	
山口県	-	-	19	0.40	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.11	-	-	53	
徳島県	2	0.09	30	1.30	-	-	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	29	
香川県	2	0.07	7	0.23	-	-	3	1.00	-	-	-	-	3	0.60	-	-	12	
愛媛県	-	-	36	0.97	-	-	29	3.63	-	-	1	0.17	-	-	-	-	46	
高知県	2	0.07	17	0.57	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.43	-	-	45	
福岡県	3	0.03	95	0.79	2	0.08	18	0.69	-	-	-	-	1	0.07	-	-	149	
佐賀県	-	-	13	0.57	-	-	-	-	1	0.17	-	-	4	0.67	-	-	20	
長崎県	1	0.02	20	0.45	-	-	8	1.00	2	0.17	-	-	7	0.58	-	-	20	
熊本県	2	0.04	57	1.19	-	-	11	1.22	-	-	2	0.13	4	0.27	-	-	37	
大分県	-	-	62	1.72	-	-	2	0.40	-	-	-	-	2	0.18	-	-	24	
宮崎県	-	-	39	1.11	-	-	8	1.33	-	-	-	-	4	0.57	-	-	18	
鹿児島県	-	-	27	0.50	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.42	-	-	43	
沖縄県	-	-	8	0.24	1	0.10	8	0.80	-	-	4	0.57	23	3.29	-	-	4	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年5週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年5週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第5号 2012年2月17日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。